

閉校記念誌 142年のあゆみ

# 前 沢 小

～ 弘麗と智徳の精神をいつまでも～

平成28年3月

前沢小学校閉校記念事業実行委員会

**前沢小 ～弘麗と智徳の精神をいつまでも～** .....1

**煌 ～ご挨拶～**

前沢小学校閉校に寄せて ..... 黒部市長 堀内 康男..... 11

前沢小学校閉校にあたって ..... 黒部市教育長 能澤 雄二..... 12

前沢小学校閉校に寄せて ..... 閉校記念事業実行委員長  
前沢自治振興会会長 舟子 忠明..... 13

前沢小学校の閉校に寄せて ..... 黒部市議会議員 村井 洋子..... 14

小学校統合によせて ..... 前沢公民館長 中谷 三嗣..... 15

前沢小学校閉校にあたって ..... 前沢小学校PTA会長 廣濱 良幸..... 16

弘麗と智徳の精神をいつまでも ..... 前沢小学校校長 籠浦 智彦..... 17

**軌跡 ～142年間のあゆみ～**

校章・弘麗 ..... 20

沿革の概要 ..... 22

思い出の校舎（平面図）..... 28

歴任教職員・PTA会長・自治振興会長 ..... 30

**最高の仲間**

思い出の活動の一コマ ..... 36

平成27年度在籍児童の活動・メッセージ..... 48

スポーツ少年団のあゆみ ..... 72

**継承 ～心の糧として～**

校歌二部合唱への道 ..... 77

朝倉豊次氏について ..... 82

**記憶 ～母校に対する思い～**

卒業生からの寄稿..... 93

**絆・感謝・夢・希望 ～新しい一歩を踏み出す日～**

閉校式・記念碑除幕式 ..... 120

PTA広報「年輪」最終号..... 125

前沢小学校閉校記念事業実行委員会組織..... 133

前沢小学校校歌（昭和28年（1953）～）

朝倉豊次 作詞

橋本秀次 作曲

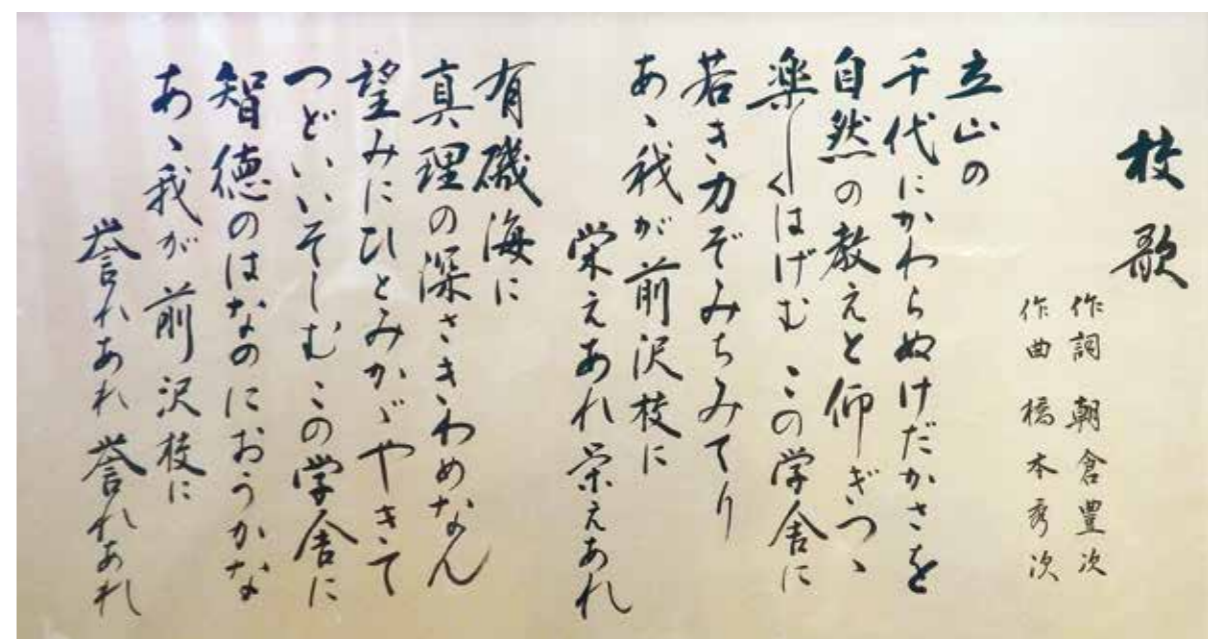
た て や ま の ち よ に か わ ら ぬ け

だ か さ を し ぜ ん の お し え と あ

お ぎ つ つ た の し く は げ ー む こ の ま な び や に わ

か ー き ち か ら ぞ み ち み て り あ あ ー わ ー が ー

ま え ざ わ こ う に さ か え あ れ さ か え あ れ



## 目指す子ども像

- ☆元気でがんばりぬく子
- ☆仲良く 励み合う子
- ☆よく考え 工夫する子



## 平成27年度の子供たち — 決意を新たに —

### 最高の1年間にするため

- ☆「元気いっぱい 思いやりいっぱい しあわせいっぱい前沢小学校」
- ☆「3月31日には、夜空で一番光輝く前沢小の星座が見られるように」
- ☆「一人になれる 一つになれる うちこめ ねばれ 欲を出せ」



1年生



2年生



3年生



4年生



5年生



6年生

### 校章の由来

水の中から知徳の花びらが匂い出ずる様子をイメージしてデザイン化してある。

- ① 桜井町にちなんだ大和桜の紋所
- ② 竜の口用水の石管のシンボル化
- ③ 隸書体の文字による調和



平成27年度 教職員





私たちは、弘麗と智徳の精神を胸に刻み  
新しい一歩を力強く踏み出します。  
時をこえて光輝きます。

ありがとう前沢小学校  
さようなら前沢小学校



宮野山の桜

# 煌

桜井小学校・桜井中学校で、

より煌めく星となることを祈って…

☆閉校にあたって

# 前沢小学校閉校に寄せて

黒部市長

堀内 康 男



黒部市立前沢小学校の閉校にあたりご挨拶申し上げます。

本校は、明治6年の創立以来、長きにわたり時代の要請に応えつつ、数多くの人材を輩出してこられました。本校を巣立たれた多くの卒業生の方々が、郷土はもとより県内外でもご活躍され、社会の進歩発展に寄与されておられますことは、誠に喜ばしいことであり、深く敬意を表するものであります。

また、開校以来、本校の進歩発展にご尽力され、輝かしい歴史を創ってこられた歴代の校長先生をはじめ、教職員の方々、地域の皆さま方に、心より感謝申し上げます。

さて、本校は児童の教育の場としてだけでなく、教育や文化の拠点として、そして地域の人々の心のよりどころとして、大きな役割を果たしてこられました。

しかし、近年の少子化により児童数が減少する中、多様なニーズに対応し、子どもたちのより良い教育環境を確保するために、本校は三日市小学校と統合することになりました。地域や卒業生の皆さまにとって、愛惜する学校の閉校は、まさに断腸の思いであったことと存じますが、統合の目的をご理解いただき、多大なご協力を賜りましたことに心より感謝と敬意を表します。

本校は現在、教育目標に「豊かな心とたくましい体をもち、学び高め合う子供の育成」を掲げ、児童が生き生きと活動できる雰囲気が形成されております。この前沢小学校の良き校風の下で学んだ児童たちは、新しい桜井小学校においても、決して臆することなく、必ずや活躍してくれるものと期待しております。

本市といたしましても、新しい桜井小学校が新たな教育の場として、さらに充実した学校となりますよう尽力いたしますので、地域や卒業生の皆さまにおかれましても引き続き、ご支援、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、この度の前沢小学校と三日市小学校の統合を進めるにあたりましては、地域や教職員の皆さま方に多大なご尽力を賜りました。限りない愛情とご理解をもって、ご尽力賜りました関係者各位に、改めて心より感謝を申し上げまして、閉校のご挨拶といたします。



北陸新幹線

## 前沢小学校閉校にあたって

黒部市教育長

能 澤 雄 二



地域の皆さまに愛され、輝かしい歴史と伝統を地域とともに築いてこられました前沢小学校が閉校の時を迎えます。

本校は、明治6年9月に「前沢学校」として創立されました。以来、明治、大正、昭和、平成と長い歴史と伝統を積み重ねながら、現在に至っております。今日まで、長きにわたり、歴史と伝統のある本校を守り育ててこられたのは、地域の皆さまの熱意と努力の賜物であります。子どもたちの成長と学校の発展にご尽力されてこられました教職員各位をはじめ、保護者や地域の皆さま方に心より敬意を表します。

この度の統合は、少子化により児童数が急激に減少する中で、子どもたちのよりよい教育環境を提供することを目的として行われました。地域の拠点である本校の閉校は、地域の皆さまにとって、誠に辛いことと存じます。惜別の念を抱きながらも、子どもたちの将来を思い、統合に向けての各種協議にご尽力を賜りました地域の皆さま方に敬意を表しますとともに、心より感謝申し上げます。

本校の閉校は、「桜井小学校」の歴史の始まりであります。児童の皆さんは、新しい桜井小学校において、多くの新しい友人と出会い、触れ合いながら、豊かな情操や深い知識、教養を身に付けていくことでしょう。また、本校で培いました郷土を愛する気持ちと態度は、新しい生活の場においても、大いに活かされるものをご期待申し上げます。

次世代を担う子どもたちの成長と発達を支えていくためには、本市や教職員各位による教育環境の整備はもちろんのこと、それに加え、地域の皆さま方にご協力いただきながら、地域と学校が一体となって、学校運営に取り組むことが、何より重要であると考えております。地域の皆さま方におかれましては、新しい桜井小学校においても、今までと変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びになりますが、思い出を後世に伝えていく本記念誌の作成をはじめ、記念碑の建立や閉校関係事業の推進には、関係者各位の大変なご苦勞があったことと存じます。ご尽力されました関係者各位に甚深なる敬意と感謝を申し上げます。閉校記念のご挨拶とさせていただきます。

## 前沢小学校閉校に寄せて

閉校記念事業実行委員長  
前沢自治振興会会長

舟 子 忠 明



この度、黒部市小中学校再編計画により明治6年9月開校の前沢小学校が平成28年3月31日をもって142年の歴史に幕を閉じます。そして、新しく桜井小学校としてスタートします。

明治6年前沢学校に始まり明治8年10月には弘麗小学校となり、その後戦争及び町村合併等で十数回変更して昭和29年4月黒部市誕生で現在の黒部市立前沢小学校となっています。

一方、布施山分校は明治15年2月に枕野小学校として開校し、明治31年12月季節分教場となり、昭和23年9月布施山冬期分教場となりました。その後、昭和50年マイクロバスの利用により廃校となりました。

その間、明治19年以降ですが3,844名の方が卒業しています。そして、多くの先人が活躍されています。

戦艦武蔵艦長及び黒部市初代教育長朝倉豊次先生（海軍少将）をはじめ種々の朝倉さん、電気工事業の中田さん（前沢村史より）、同じく中西さんです。

また、最近ではスポーツで全国大会で多くの方が活躍しています。

さて、学校は学び舎でもありますが地区のスポーツ文化の拠点でもあります。学校がなくなることは地区の衰退にも繋がると懸念されます。しかし少子化による児童数減、及び最近の災害時の対応など考える時、多数での切磋琢磨すること、そして、伸び伸びとした環境で学ぶことが大切と思います。

小学校は閉校しますが、長年培われた歴史と伝統はなくなることはありません。

前沢小学校、三日市小学校の両校が力を合わせ、桜井小学校の限りない発展を願い挨拶とします。

## 前沢小学校の閉校に寄せて

黒部市議会議員

村井 洋子



142年の歴史を前沢の歩みと共に刻んできた前沢小学校は、児童数の減少などの理由から2016年3月をもって閉校することになりました。

そして、4月より前沢小学校は三日市小学校と統合し、桜井小学校として新しくスタートすることになります。

これまでに前沢小学校と三日市小学校の児童間の交流も行われ、大人が不安に思うほどには子どもたち自身は自然に慣れ親しんでいくものと思います。

そして前沢の子どもたちについては、これまで多くの先生方に大変お世話になりました。心から感謝を申し上げます。その先生方からは、一様に前沢の子どもたちが純真で素直であると、いつもお話をいただいていた。

とても嬉しいことでもあります。

このことは、子どもたちを大切に思い、学校への協力を惜しまない前沢地区民の大きな愛情によるものと私は思っています。

学校統合は地域にとりましても大きな出来事ではありますが、だからこそ、地区民は一層の連帯・協力が必要であり、地域の振興に力を尽くしていくことが大切だと思います。次代を担う世代の皆さんが一丸となって、子どもたちと共に前沢地区を盛り上げていって下さることを祈念しております。

結びに、前沢出身の初代黒部市教育長、朝倉豊次氏が残された詩を記し、大海原へこぎ出していく前沢小児童たちへの‘はなむけの言葉’と致します。

天に星  
地に花  
人に愛

星が君たちの行く手を照らして  
くれるだろう。

地には美しく花が咲き乱れ  
いつしか君たちは愛を知る  
ことだろう。

## 小学校統合によせて (輪から結びに)

前沢公民館長

中谷 三嗣



たしか本校の5～6年生の頃だったと思う。三日市小学校改築のため、その間の仮校舎として同校のとある学年が通学していた。それが偶然にも同学年であった。(後に知ったのだが、終戦年生まれは生徒数が少なかったことも選定理由の一つだったようだ)

クラスは別々であったが休み時間は同じ、加え登下校時は我が家が中部町内の三日市寄りにあってか一緒になることが多く自然と顔見知りになり、そして声を掛け合うようになった。

こうしたことがきっかけになったのだろう、今でも逢えば気軽に話をし、また親しく付き合っている友は何人もいる。

ちなみに壮寿や還暦など慶事を祝う同級会は招待先生もあり、一次会こそ分けてはいるが、二次会以後は合同で行ってきた。気分はもう一校の同級生、より盛り上がるのが毎回だ。

ところでこうした同級会、小中高と何回となく行ってきたが、なかでも最も話がはずむのは、共に野山や川で遊ぶなど楽しかった思い出の多い小学校だ。人間、年を経るにつれ童心に帰ると言う。気楽に昔話を語り合える幼馴染の同級生が生涯の友に一番近いのではないだろうか。

今春4月からは、いよいよ本校児童も桜井小学校が学び舎となる。一挙に同級生や友人も増えるであろう。

そして後年、社会人になればこうした同級会も行われることであろう。一人でも多い方が楽しくにぎやかになることは誰しもそうであろうし、自分も経験している。

老後の一人暮らしが増えてきているという。同級生同士の付き合いや絆は一人暮らしでも一人ではない環境、そして一人になってからも安心して暮らせる老後の一つに繋がるのではないだろうか。

結びに前黒部市教育長、中山慶一氏の言葉を借用します。

『同級生はたからもの』

氏とは同じ小学校ではありませんが、同級生です。



## 前沢小学校閉校にあたって

前沢小学校PTA

会長 廣 濱 良 幸



前沢小学校は平成27年度に、明治6年から142年にわたる輝かしい歴史に幕を下ろし、ここに閉校することになりました。

前沢における学校教育は常に地域、保護者、教職員が一丸となり伝統を築き上げて参りました。いま改めてその歴史と学校がもっていた中心的な役割を実感しております。

連なる山々、水清く、豊かな自然、人情も細やかな地域に住む前沢の子供たちは「豊かな感性」と「人を思いやる心」を育てています。「人は環境によって育てられる」と言われるとおりです。

美しい自然と家庭や地域の皆様が子供たちの健やかな成長を見守り、願って頂いている熱い心が子供たちに伝わり、人として豊かな心を培ってきたものと考えます。

本校が閉校になっても、地域の方々や卒業生の心の中に「前沢小学校校歌」  
「立山の千代に変わらぬ気高さを 自然の教えと仰ぎつつ

楽しく励むこの学び舎に 若き力ぞ満ち見てり

ああ我が前沢校に栄えあれ」

は前沢に永遠に息づき、その良さと歴史は語り継がれていくものと確信しております。終わりにりましたが、これまで前沢小学校の教育活動に限りないご支援とご協力を賜りました保護者、地域の皆様、関係者各位に深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

## 弘麗と智徳の精神をいつまでも

前沢小学校

校長 籠 浦 智 彦



明治6年9月、前沢学校からスタートし、142年の歴史に幕を閉じることとなりました。閉校となると寂しさもあります。しかし、子供たちが新しい環境で、そして今までの約6倍となる多人数の中で切磋琢磨し、大きく成長する出発の日と考えると喜びも大きく膨らみます。

私は教諭として9年間、校長として2年間、前沢小学校に勤務しました。平成6年4月に着任し校歌を初めて耳にした日、歌詞の一言一句の意味の深さとメロディの美しさに感動したのを覚えています。

その日から20年後、平成26・27年度は、校長として着任しました。学校経営方針は、「弘麗と智徳の精神を受け継ぎ、子供たちを育てること」であり、次のようなキャッチコピーを掲げ教職員と子供たちで一年間取り組んできました。

☆元気いっぱい 思いやりいっぱい しあわせいっぱい前沢小学校  
☆平成28年3月31日 夜空で一番光輝く前沢小学校の星座が見られるように  
☆一人になれる 一つになれる 打ち込め ねばれ 欲を出せ

子供たちは一つ一つの教育活動にしっかり取り組んで成果をあげ、まさに「有終の美を飾る」のにふさわしく活動しました。授業中のし～んとした中に鉛筆のカツカツという音だけが響く書く学習活動、話を聞く態度、前沢スター花壇での栽培活動、校歌の二部合唱、全員が登頂した立山登山、サプライズのある運動会…どれを見ても、子供たちは主体性と創造性を発揮しながら「目指す自分の姿」の実現に向けて努力していました。まさに、「弘麗と智徳の精神」にあふれ、一つ一つの星が光輝き73個の星が結び付きました。

この育ちがあれば大丈夫。「子供たちは桜井小学校・桜井中学校で、臆することなく自分を表出し、たくましく歩んでくれる」と確信しております。

前沢小学校を表す「弘麗と智徳」

この精神を受け継いだ73名の子供たち 大きくはばたくことができる  
何事も乗り越えることができる

終わりにりましたが、閉校・統合に向けてご尽力くださった、黒部市・黒部市教育委員会・前沢小学校閉校記念事業実行委員会のみなさま、保護者のみなさまに感謝申し上げます、挨拶といたします。

# 軌跡

ページをめくると、  
明治6年からの  
足跡がよみがえる…



笑 顔

- ☆校章・弘麗
- ☆沿革の概要
- ☆思い出の校舎（平面図）
- ☆歴任教職員・PTA会長・自治振興会長
- ☆児童数の推移

# 前沢小学校 校章の由来

— 昭和15年2月11日 桜井町の誕生に伴い制定 —



水の中から知徳の花びらが匂い出ずる様子をイメージしてデザイン化

- ① 桜井町にちなんだ大和桜の紋所
- ② 竜の口用水の石管のシンボル化
  - ・前沢地区を通る十二貫野用水の中から、当時としては画期的なサイフォンの原理を利用した竜の口用水の石管を井桁にシンボル化したものと考えられている。
- ③ 隸書体の文字
  - ・紋章の基部には前沢の「前」を隸書体で、ゆるやかに示してあり、直線と曲線とがほどよく調和するようにデザインされている。

# 弘麗について — 記念碑 —

『太政官達ニヨリ明治六年二月 村民一同協議シ、一校ヲ設立ス。創校ノ際、単ニ「前沢学校」ト称シ、ソノ後、明治八年十月新築、ココニオイテ「弘麗小学校」と撰号ス。』【前沢小学校第一号沿革史】

弘麗のことばの意味

「心や徳が広く、そして清らかで健やかな  
子供に育ててほしい」



(中国の古書より引用されたものと言われていますが、定かではありません。)

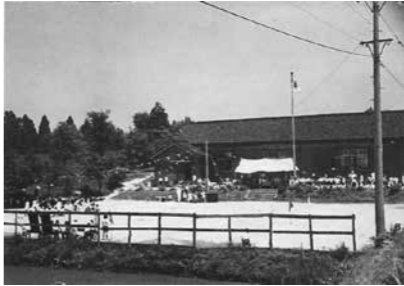





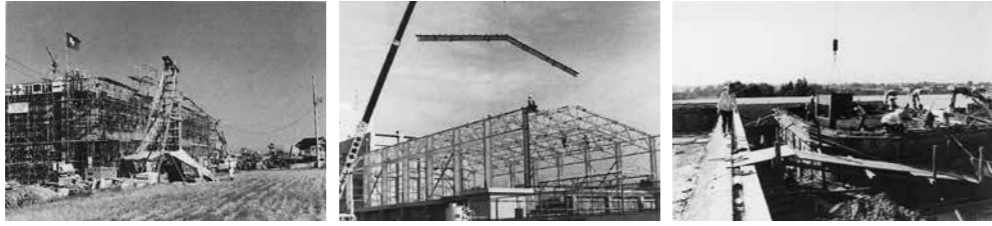


除幕式 昭和56年9月設置




# 沿革の概要

(参考：前沢村史、沿革史、百二十年のあゆみ、布施山分校25年のあゆみ)  
創校80・90・100・110周年記念式典資料、教育計画書

年月日	本校の沿革	分校の沿革
明治 6. 9. 20	前沢学校創校 (前沢のみ) 朝倉次平方 (前沢587)	
7. 4	山田新、吉城寺、布施山開、神谷加わる	
8. 10	弘麗小学校と改称	
9. 5	校舎新築 (前沢195)	
15. 3		布施山開分校創校 神谷は田家校に移る 分校枕野小学校と改称
16. 4		
20. 4	下新川郡第十一番区前沢簡易小学校と改称 (3年制)	
23. 3		分校枕野小学校廃止
23. 4	下新川郡第二十番区前沢小学校と改称	
25. 10	前沢尋常小学校と改称 (4年制)	
29. 8	講堂新築	
31. 12	季節分教場創設 (布施山開)	
34. 4	季節分教場廃止 (布施山開)	
41. 4	前沢尋常小学校 (6年制)	
大正 3. 11	校舎移転・増築 (前沢205)	
10	農業補習学校併設・開校	
15	前沢青年訓練所併置	
	 明治二十九年建設校舎 (大正三年三月に撮影、校舎移転前)	
	 大正3年新築校舎 (大正3年11月に撮影)	
昭和 3. 12	旧講堂移転、6教室増築	
15. 2	市町村合併により 下新川郡桜井町立前沢尋常小学校と改称	
16. 4	下新川郡桜井町立前沢国民学校と改称	
22. 4	下新川郡桜井町立前沢小学校と改称	

年月日	本校の沿革	分校の沿革
昭和23. 9. 4		布施山分校(1・2年生)設置 (本野245)
26. 5. 16	 昭和38年撮影の布施山分校	布施山分校 (3・4年生増設)
28. 8. 8	校歌 作詞完成 作詞者 教育長朝倉豊次氏より学校に届く	
28. 10. 6	校歌 作曲完成 作曲者 橋本秀次氏より電話と譜面郵送	
28. 10. 20	創校80周年記念式挙行、校歌斉唱 (制定)	
	 朝倉豊次教育長参列 ・初めて新しいピアノにあわせて、新しく制定された校歌を斉唱したときは、作詞者朝倉豊次氏をはじめ一同、感激の涙にむせんだ。 【創校80周年記念行事記録より】	
28. 10. 28		布施山分校新築移転 (本野277)
29. 4	市制実施により黒部市立前沢小学校と改称	
33. 9		布施山分校創校10周年記念式挙行
38. 10. 25	創校90周年記念式挙行、講堂新築	
43. 4		布施山分校創校20周年記念式挙行
48. 3. 26	分校・本校統合 	布施山分校閉校 本校へ統合
48. 11. 18	創校100周年記念式挙行	
48. 12		布施山冬季分校開設
50. 12		布施山冬季分校閉鎖

年月日	本校の沿革
昭和	 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <b>現在の校舎・体育館・プール工事の始まり！</b> </div> <p>53. 8 新校舎竣工、グラウンド完成</p> <p>54. 7 プール完成</p> <p>56. 3 屋内体育館竣工、総合竣工祝賀会</p> <p>56. 4 黒部市小教研社会科研究指定（56・57年度）</p> <p>56. 9 地域素材開発に取り組む 石碑「弘麗」建立</p> <p>56. 11. 13 創校110周年記念学習発表会</p>   <p>61. 10. 5 朝倉豊次胸像市民憲章樹立、屋外環境整備事業</p>
平成	<p>3. 3 校舎総合竣工10周年記念式</p> <p>4. 4 文部省「勤労生産学習」研究推進校指定（4・5年度）</p> <p>5. 10 勤労生産学習研究発表会</p> <p>5. 11 創校120周年記念式挙行・記念誌「百二十年のあゆみ」発行</p> <p>8. 11 平成8年度富山県準健康推進学校表彰</p> <p>12. 11 平成12年度富山県健康教育実践優良学校努力賞受賞</p> <p>15. 4 富山県県土美化推進会議より地域環境美化活動表彰</p> <p>15. 4 創校130周年記念大運動会並びに広報紙発行</p> <p>17. 11 富山県小学校教育課程研究集会（体育科部会）研究発表</p> <p>18. 4 とやま型学校評価システム推進校（アクションプラン）</p> <p>19. 4 青少年赤十字活動推進校（19・20年度）</p>

年月日	本校の沿革
平成20. 2	「元気とやまスポーツ賞」受賞
20. 4	幼・保・小育ちの架け橋事業推進校
21. 1	「学校給食優良校」受賞
23. 11	北日本新聞感想文コンクール学校賞受賞
24. 4	栄養教諭を中核とした食育推進事業
24. 7	第7回黒部市社会福祉大会共同募金活動表彰
24. 11	富山県近視予防の部努力校表彰
25. 9	創校140周年記念式挙行〈6月航空写真撮影〉
25. 11	健康教育実践優良学校表彰 近視予防の部門 準優良校
26. 4. 1	学校の教育目標を見直し、「豊かな心とたくましい体をもち、学び高め合う子供の育成」とする
26. 4. 1	前沢小学校いじめ防止基本方針施行
26. 11	文部科学省「いじめの問題に対する取組事例集」の校内体制の整備に本校の取組が掲載される
27. 2	「新！北陸 わがまちポスタープロジェクト」への参加 校歌の直筆・二部合唱の譜面発見
	 
4. 28	前沢小学校閉校記念行事等に係る実行委員会総会
5. 20	校歌二部合唱練習開始
7. 4	社会を明るくする運動で校歌二部合唱披露
8. 6	朝倉豊次氏三女 荻原 道さん講演会 ・教職員、児童、地域住民67名参加
	

年月日	本校の沿革
10. 14	第142回創校記念式 (全校児童による校歌二部合唱)
	 
12. 9	昭和28年寄贈ピアノ修復・調律 (初めて校歌を歌った日のピアノ)
28. 2. 26	ありがとう前沢小学校感謝の集い (児童会活動)
2. 27	PTA総会 (前沢小学校PTA解散) 環境整備一感謝の気持ちを込めてー
3. 5	閉校式・除幕式・感謝の集い
	 <ul style="list-style-type: none"> <li>校歌音声機器</li> <li>記念碑</li> <li>朝倉豊次氏胸像リニューアル</li> </ul> <p>前庭にあります！ 校歌が流れる音声機器の天板</p>
3. 25	引っ越し作業開始
3. 31	閉校
	 <p>校歌に込められた願い …いつまでも</p>  <p>時を超えて輝け！ 前沢小学校の星座</p>

# ありがとう 前沢小学校 142年の歴史に感謝

**時を超えて 光輝け 73の光**

- 学校のあちこちの場所にたくさんの思い出があります。
- ・廊下や階段の汚れ一つをピカピカになるまで、みがいた子供たち
- ・「○○さん、おはよう」とあいさつと笑顔が咲きほころんだ児童玄関
- ・通学経路に咲いていた一輪の花にほつとした瞬間
- ・友達とボールを追いかけたグラウンド
- ・鉛筆のカツカツという音だけが響く授業時間


**水泳帽に貼る☆のシールがほしくて、たくさん通いました。**

**逆上がり・前回り…でできるようになりたいので、何度も何度も挑戦しました。**

**野球に燃えました。「元気・礼儀・感謝」は、野球少年の合言葉でした。**

**ボールで遊びたくて、朝学校に来たときに、隠したこともありました。ごめんなさい。**

**朝倉豊次さんの温かい眼差しに見守られて、毎日学校生活を送りました。弘麗と智徳の精神をこれからも大切にしていきたいです。**

**「じゅうたん」だったので、寝っころがって本を読んだこともありました。**

**朝倉豊次さんの温かい眼差しに見守られて、毎日学校生活を送りました。弘麗と智徳の精神をこれからも大切にしていきたいです。**

**毎日、心と目を和ませてくれた前沢スター花壇。学校がなくなっても、ここは心のオアシス！**

**1年間の思い出は、各学年のページを見てください。タイムスリップできます。**

**先生に叱られるとき、園工室に連れられてきたのも、よい思い出。**

**全校で食べる給食の時間が楽しかったです。木曜日の英語、委員会からのお知らせ…楽しい時間を過ごしました。**

**うんてい・ジャングリングム・ぶらんこ・タイヤ…毎日よく遊んだ。写真撮影のおすそめ場所でした。**

**サッカーも楽しかった。いろいろな学年の友達と毎日、遊びました。**

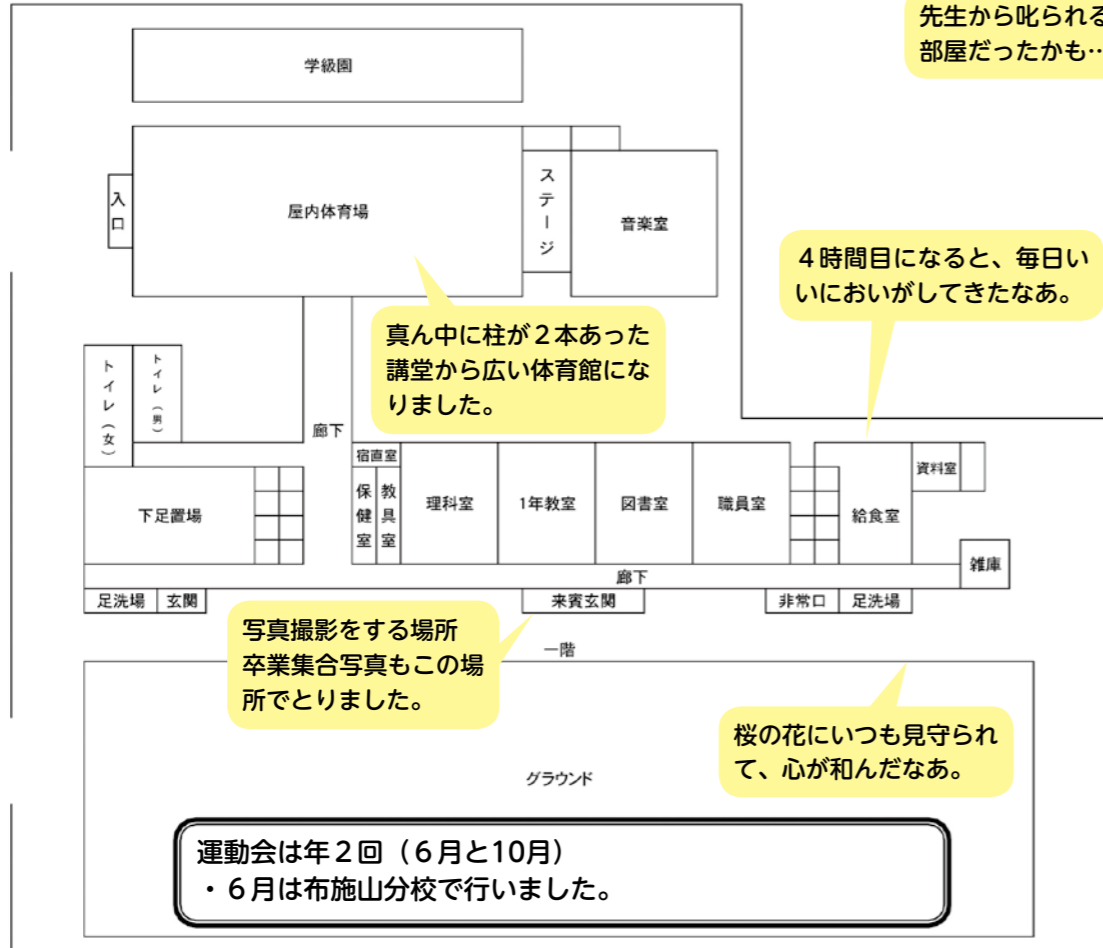
**けがをしたとき、心がくたばったとき…お世話になった部屋。保健の先生の笑顔が大好きでした。**

# 前沢小学校旧校舎

窓ガラスみがき  
窓のさんに座って、  
きれいにみがきました。  
落ちる心配なんてしなかったなあ。



先生から叱られるときの  
部屋だったかも…。



4時間目になると、毎日い  
いにおいがしてきたなあ。

真ん中に柱が2本あった  
講堂から広い体育館にな  
りました。

写真撮影をする場所  
卒業集合写真もこの場  
所ですりました。

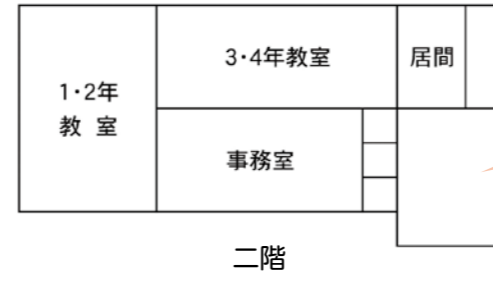
桜の花にいつも見守られ  
て、心が和んだなあ。

運動会は年2回（6月と10月）  
・6月は布施山分校で行いました。

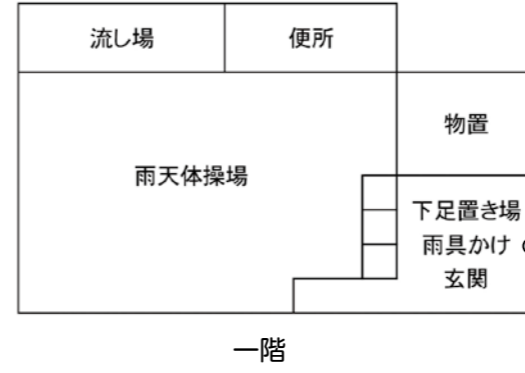
- 昭和22年 学校給食の実施
- 昭和23年 PTA発足（保護者の学校教育の参加）
- 120周年記念誌より
  - ・白く乾いたグラウンドに立つ一本のシュロの木の光景がいつもよみがえる。
  - ・雪の多い日には、給食が届かない日があった。6年生がスコップをもち、消防車と一緒に給食を取りに行った。
  - ・布施山分校で6月に運動会をした。帰り道は、長く大変だった。わき水がとてもおいしかった。

# 前沢小学校分校 校舎平面図 ～思い出を加えて～

## 開校当時（昭和23年）布施山分校平面図



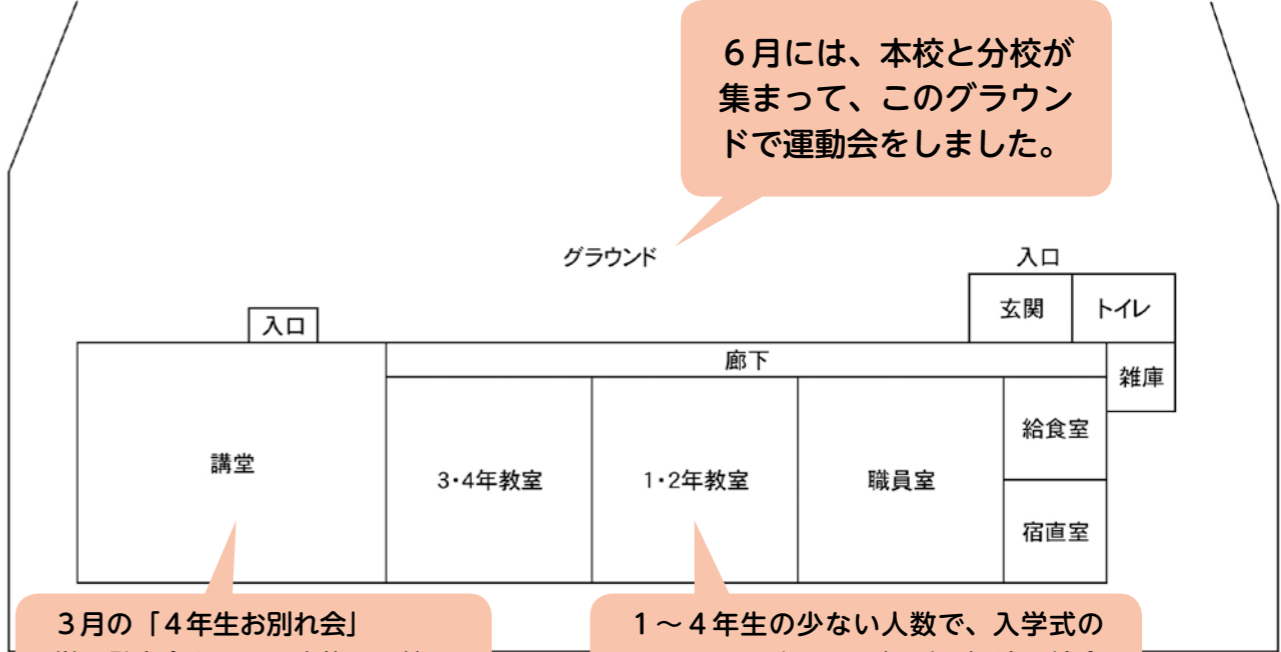
分校ができる前は、前沢小学  
校までの5kmを歩いて通いま  
した。道路には大きな石があ  
ちこちに飛びだしているし、  
雨の日は道が川のようなでした。



大雪の日、ようやく学校に着  
いたと思ったら「休校」の看  
板が掲げてあり、そのまま  
帰ったこともあったなあ。

明るい自然の中でのびやかに素直に育った子供たち。楽しい毎日を過ごしました。

## 昭和28年新築 布施山分校平面図



6月には、本校と分校が  
集まって、このグラウン  
ドで運動会をしました。

3月の「4年生お別れ会」  
学習発表会をして、家族と一緒に  
給食を食べました。その日は、い  
つもよりもご馳走でした。

1～4年生の少ない人数で、入学式の  
翌日から、すべての場所の掃除、給食  
当番等をしました。とてもよく働く子  
供たちでした。(120周年記念誌より)







# 最高の仲間

最高の仲間がいたから、何事もやり遂げることができた  
73人の絆をいつまでも…



夏祭り

☆学校の一年

☆平成27年度在籍児童の活動・メッセージ

☆スポーツ少年団のあゆみ

# 思い出の活動の一コマ

—— 142年の歴史と伝統に感謝 ——

多くの先輩が築立ち、歴史を重ねてきた前沢小学校  
地域に支えられ、地域とともに歩んできた前沢小学校  
共に学び、共に遊び、数々の思い出が残る前沢小学校

そして

私たちがいつも温かく見守ってくれた前沢小学校  
この前沢小学校のことを、私たちは忘れません

私たちは、弘麗と智徳の精神を胸に刻み  
新しい一歩を力強く踏み出します。

時をこえて光輝きます。

ありがとう前沢小学校  
さようなら前沢小学校

毎日通った玄関 玄関をくぐるとそこは…

—— 元気いっぱい 思いやりいっぱい しあわせいっぱい前沢小学校 ——



このキャッチコピーをいつまでも心に抱いてください



児童会のキャッチコピーに迎えられて

あいさつ運動 —— 一年間を通して「〇〇さん おはよう」 ——



目を見て心を込めて「〇〇さん おはよう」



頭をたくさん撫ですぎて、色があがってきました



温かな全校児童の笑顔が迎えてくれました

# 学校の一年のあゆみ — 玄関を通るとしあわせいっぱい —



心がうきうきする春、希望と夢にあふれる春…  
自分を変身させようと努力しました

## 始業式 — 4月6日 —



閉校する年の始まりです！  
1つ1つに思いを込めて

3月には  
☆「宇宙一、素晴らしい学校だったよ」と言えるように…。  
☆夜空に一番光輝く「前沢小の星座」が見られるように…。



## 入学式 — 4月8日 —

## 遠足 — 5月1日 —

第1・2学年	第3・4学年	第5・6学年
ファミリーパーク	富山市科学博物館	白川郷

## 連合体育大会 — 5月15日 前沢小学校として出場するのも最後… —



本番に向けて毎日練習した成果を発揮！  
努力の大切さを学んだよ。

## 名水マラソンの応援

— 5月24日 応援者と選手が一体となって —



「ようこそ名水の里 黒部へ  
選手のみなさんがんばれ！」



## 前沢スター花壇

— 7月16日 —



スターが美しく大きく咲くように、大切に育てたよ！





外での活動が力いっぱいできる夏…  
みんなで力をあわせて楽しみました

トロッコ電車 — 7月3日 ジオパーク・自然の美しさ 4・5・6年生 —



トロッコ電車  
から見る景色  
とてもきれい  
で感動！

立山登山 — 7月29日 校歌を書いたメモリアルストーンを置いてきたよ —



全員登頂  
6年生の絆があったから成し遂げられた



夏祭り — 8月8日 閉校…学校で開催しよう —



思い出がたくさんつまった学校  
「ありがとう 前沢小学校」

私も前沢小の  
卒業生。  
思いを込めて、  
書きました。



水泳記録会 — 8月25日 プールに感謝 —



水泳の目標すべて達成  
☆13個おめでとう！



前庭工事開始 — 8月 —

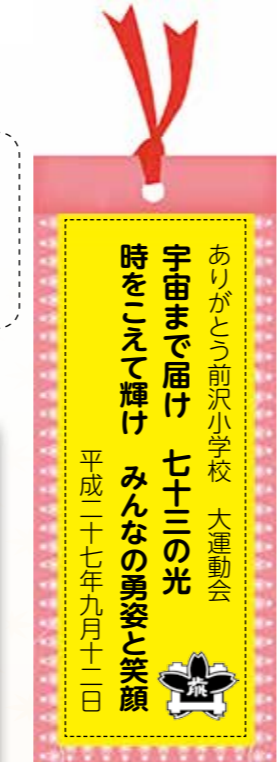


記念碑・朝倉豊次氏の胸像のリニューアル・校歌音声機器の設置に向けての木々の伐採、石の移動等の工事が始まります。  
私たちを見守ってくれた木々に感謝しながら…



スポーツの秋、芸術の秋…  
1つ1つの行事に感謝の気持ち  
を込めて取り組みました

ありがとう前沢小学校 大運動会 — 9月12日 —



サプライズの一つ  
参加者全員でマイ  
ム・マイム

第142回 創校記念式 — 10月14日 二部合唱 —



弘麗と智徳の精神を大切にして成長してほしい。  
ありがとう前沢小学校の気持ちを  
行動に表そう！



ランチルームでの給食



What food do you like?  
I like sushi and sashimi.



富山県警音楽隊 — PTA教養講座 —



よい睡眠で  
学力UP

校歌をアレンジしていただきました。前庭の音声ガイドで聞くことができます

公民館まつりでの発表 — 11月 校歌二部合唱・流水客土 —



美しいハーモニー  
心を込めて歌いました

宮野山の赤土で流水客土をしたんだよ。  
前沢の人なら知っておいて！





前沢小のよさ・すばらしさを実感した冬  
大きくはばたけ！73の星

下校 — 元気いっぱい 思いやりいっぱい しあわせいっぱいの日を終えて —



北陸新幹線開業・地域観光ギャラリーオープン — 2月4日 —

黒部市と前沢地区の自慢のポスターを描きました



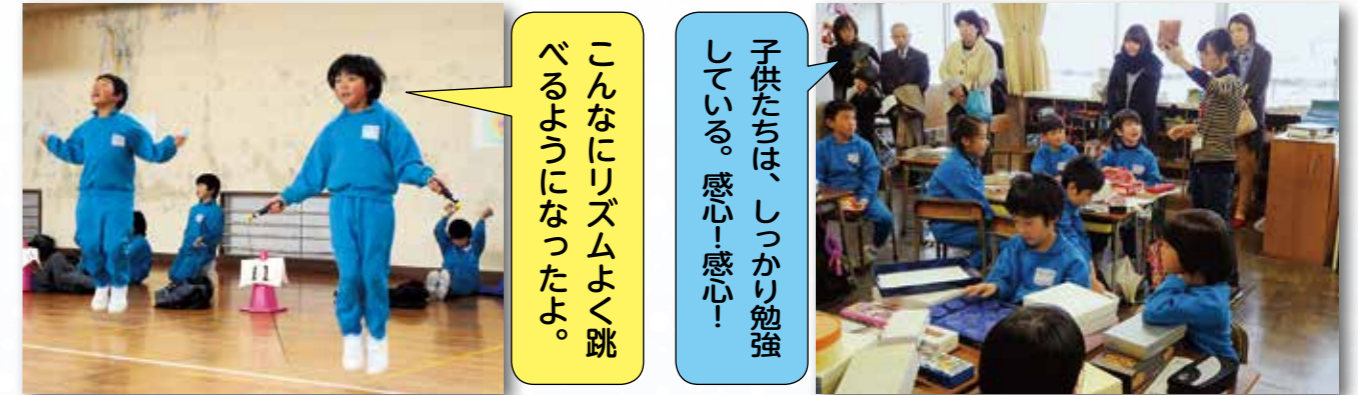
スキー練習会 — 1月22日 —

書き初め大会 — 1月8日 —



なわとび大会 — 2月 —

学習参観 — 2月 —



こんなにリズムよく跳べるようになったよ。

子供たちは、しっかりと勉強している。感心！感心！



平成26年度 卒業証書授与式 — 3月17日 —

数多くの卒業生が巣立ちました。  
自信と誇りをもって...



## 地域・PTAとの活動の一コマ

### 青パトの方に見守られて — 安全な登下校 —



地区のみなさまのおかげで、楽しい学校生活を送り、安全な登下校ができました。ありがとうございます！  
— ございました！ —

### 美しい環境で勉強することができたよ — PTA労力奉仕 —



### 心と目を和ませてくれました — カンナロード —



### 楽しかった公民館まつり お父さん・お母さんありがとう — 親子活動 —



地区に愛されて142年間  
ふれあいを通して、みなさまの心の温かさを感じました

## 自然体験活動 — いのちの尊さを… — — 丸いも・さつまいも・稲作 —



大切に育てた「丸いも」たくさんとれたようれしいな♪

前沢地区特産の「丸いも」 指導者 城 幸男さんありがとう



たくさん実ったかな？

ほら、見て！

おいしくできたよ！



土の中は温かいなあ

3本の苗が20本になったよ

お米一つづつを大切に

「よく働く、いい子たちだね」



私は前沢小学校の卒業生です。「昔、田植えの時期は、僧ヶ岳の雪絵が出たころに…」と、先生に習いました。



前沢地区の方の心の温かさと植物にいのちがあることを感じました！





学年の目当て



元気いっぱい1年生



春の遠足  
～富山市ファミリーパークにて～



ありがとう前沢小学校 大運動会  
～思い出の前沢タワー～



優勝カップを手にして  
みんなうれしそう



学級園にて、サツマイモ栽培  
～6年生と一緒に、春に苗を植えて秋には収穫したよ～



2年生と一緒に、ポップ  
コーンパーティーをしたよ

生活科の学習で ～からだ全体を使って取り組みました～



宮野運動公園



どろ遊び



しゃぼん玉、たくさんとんだよ



学校探検 ～校長室～



給食試食会



交通安全教室



黒部市美術館 出前授業  
～フィンガーアート～



初めて絵の具を使って  
～ぐるぐるぐるーり～



堀田先生 水泳指導

ありがとう まえざわ小学校  
うんどうかいでリレーを  
ぜんこうでしたのが  
たのしかった。まなもとこ

ありがとう まえざわ小学校  
2ねんせいといっしょにトッポルや  
すおりにかんけいをしてたのが  
かわむら ゆき

ありがとう まえざわ小学校  
はじめてぜんこうで  
きゅうしよくをたべたこと。  
たけのこ

ありがとう まえざわ小学校  
せいかつがでしゃぼんだま  
をふいたら、いっぱいとんた  
たのしかった。さるた いぶき

ありがとう まえざわ小学校  
グラウンドでたいいくが  
できてたのしかったよ  
むらいあおと

ありがとう まえざわ小学校  
みんなですなあそびをやたりみつきん  
バツタをつかまえてたのしかった。  
あさくら せい

ありがとう まえざわ小学校  
学校のブランコを  
したのがたのしかった。  
しろ あぎと

ありがとう まえざわ小学校  
まえざわこでぜんこう  
リレーをしたのしかった。  
かなもの あな

ありがとう まえざわ小学校  
グラウンドでともだちと  
バツタとりをしたことが  
たのしかった。あさの みつき

ありがとう まえざわ小学校  
6ねんせいとこつまいもの  
パンケーキをたべておいしかった  
かわた さやか

ありがとう まえざわ小学校  
ぎょうかんにぜんこう  
リレーをしたのしかった。  
せいとう れな

ありがとう まえざわ小学校  
校交えてれなさんと  
あそびたのしかった。  
いなば まほ

ありがとう まえざわ小学校  
すこうどぶつむらのピクニックで  
おもしろいかばができてた  
かなづか すず

ありがとう まえざわ小学校  
たいいくのじかんにてつぼうが  
おにごっこをしたことが  
たのしかった。こみお しおん

ありがとう まえざわ小学校  
3015ですすんでいて、  
なまえをよばれたこと  
おかもとりつき



# 2年生 の 思い出



みんないい笑顔！  
今日から学校で  
お兄さん、お姉さん



図画工作科「土ってきもちいい」～ダムや川を作ったよ～



国語科 グループで音読 ～気持ちを込めて読んだよ～

春の遠足  
〜キリンと一緒に〜



1年生と「えがおいっぱい集会」  
ジャンケン列車をしたよ。学校のことを教え、  
仲よくなったね。

生活科「前沢地区 まちたんけん」  
前沢の素敵なおところをたくさん見つけました。教えて下さり、ありがとうございました。



給食センター見学。野菜を切る機  
械や大きな鍋にびっくりしたよ。



中田リンゴ園では、リンゴの花から  
赤い実ができるまでを観察したよ。



朝倉さんの店は、ずっと前は、  
文房具屋さんだったそうです。



村井さんに質問。  
イノシシのリンゴちゃんや、  
ハクビシンもいたよ。



下組探検「わあ、高い」



一人ずつ好きなリンゴを取ったよ

7月 育てた野菜を使ってピザパーティー ～おいしくいただきました～



9月 前沢小学校最後の運動会 ～力いっぱいがんばりました～



10月 1年生とポップコーンパーティー ～作り方を教えてあげたよ～



ありがとう前ざわ小学校  
わたしは、前にわのかだ  
んがとってもきれいだと思  
いました。とくにオレンジ色  
と黄色がとってもきれい  
でした。しろきみお

ありがとう前ざわ小学校  
わたしは、73人せんいんが友だち  
なのがすきでした。  
1年生もいっしょにあそぶのがいい  
と思いました。

山本ゆ月

ありがとう前ざわ小学校  
ずこうのべんきゅうがたのしか  
たです。  
エさくをつくるのがたのしか  
たです。

ありがとう前ざわ小学校  
ぼくはよく考えてテストで  
100点をと、たのがうれしか、たです。  
ぼくは、読み聞かせのとき  
がすきでした。

いちい夏み

朝くらかん太

思い出いっぱい 2年生

ありがとう前ざわ小学校  
わたしは、前に木のけ  
しきがすきです。どうしてか  
というと、木がいっぱいあるから  
です。

ありがとう前ざわ小学校  
ぼくは、おく上からの山の  
けしきがすごくすきでした。

ひえはたけあかり

さあいこうめい

ありがとう前ざわ小学  
校  
わたしは、前ざわ小学校  
で友だちがすくしてでき  
るのがいいと思いました。  
いとうそのか

ありがとう前ざわ小学校  
前にわのスターの花が、  
とてもきれいでした。  
わたしは前にわで"かくれんぼ"  
をするのがたのしか、たです。

中ひらあいら



楽しい思い出がいっぱい  
3年生



リコーダーの練習



「学校の古い物調べ」  
の発表



スーパーの見学の新聞作り



楽しかった春の遠足



みんなで楽しく学んだ英会話



自分が考えたコマの発表



いもほり



全力を出し切った  
運動会



チューズデー集会での音読発表



がんばった水泳練習



アピタでの校外学習



図工：教室を紙の屋敷にしたよ！



# 4年生の思い出



みんなで決めた学級目標！学習に一生懸命取り組み、友達にほわほわ言葉をたくさん使いました。



思いっきり遊んだ春の遠足 in 太閤山ランド



声を掛け合い、協力して登った来拝山。宿泊学習で、みんなの絆が深まりました。



4年生になって初めてのチューズデー集会。宿泊学習のことについて発表しました。



第1回花丸パーティー。学級目標に向かってコツコツ取り組み、頑張ったための花丸でお楽しみ会をしました。



吉田科学館にてプラネタリウム見学。色々な星座や、科学の不思議に触れることができました。



黒部峡谷の大自然に感動したトロッコ電車乗車体験学習



トーチカさんに教わりながら、太陽の光を利用して雄大な山を描きました。



どの競技も力いっぱい頑張った運動会



第2回花丸パーティー。自分たちで計画し、みんなで楽しく活動できました。



大きく実ったさつまいも。たくさん収穫しました。



わたしが一番楽しかったのは、  
体育館を使って遊ぶことです。  
クラスのみんなでおにごっこ  
やドッジボールで遊ん  
だりすることが楽しかったです。  
朝倉花音

ぼくが一番楽しかったことは、  
大運動会です。わかれは最後の全  
リレーでは2位になったけど総合  
成せきが赤の方が高かったので  
勝ててうれしかったです。  
朝倉大貴

ぼくが一番楽しかったことは、  
体育館で遊んだことです。とくに  
体育館でドッジボールやお  
にごっこをして楽しかったです。  
澤井瑠吾

わたしが一番楽しかった  
ことは宿はく学習です。  
前沢小学校最後の宿  
はく学習なので、楽しめ  
てよかったです。木本つゆ

**ありがとう**  
**前沢小学校**  
**～4年生の思い出～**

わたしが一番楽しかったこと  
は、花丸パーティーです。花  
丸パーティーで、みんなとドッジ  
ボールやフリスビー、ドッジをやること  
が楽しかったです。  
いとうはや

わたしが一番楽しかったことは、  
運動会です。はじめておウ  
えんだんをして、全力を  
出したからです。  
中野詩音莉

ぼくが一番楽しかったのは、  
身体みじや、たドッジボールで  
す。4年生だけでなく、  
5、6年生もやりました。ドッジボール  
が楽しかったです。  
中谷あおい



私の一番の思い出は、宿はく学習  
です。初めて4年生での宿はく学習  
なので、すごくドキドキしました。  
未だに山登山も初めてなので  
宿はく学習では、初めてやること  
が多かったのが楽しかったです。  
ばんじゅう 羽菜

ぼくが一番楽しかったこと  
は、学系及タイムです。ドッ  
ジボールやおにごっこが楽  
しかったです。  
宮本凌太

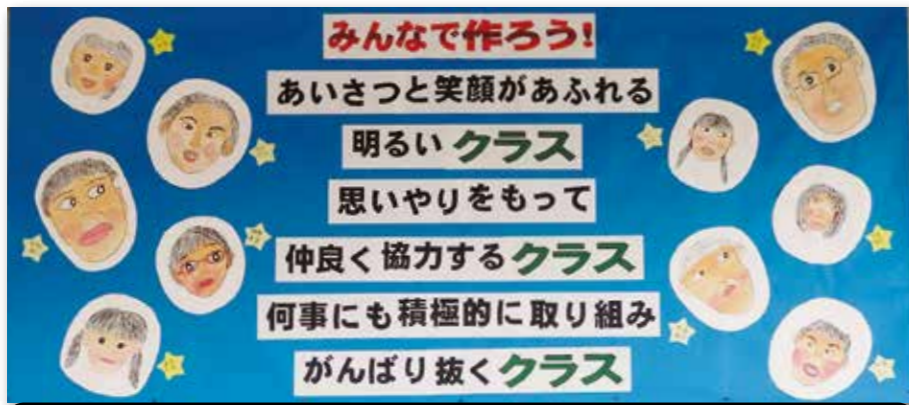
ぼくが、一番楽しか  
たことは、花丸パーテ  
ーです。ドッジボールと  
かがおもしろかったです。  
くら石りょうた

わたしが一番楽しかったのは、  
4年生のみんなと花丸パーテ  
ーをしたことです。チームでたか  
かした、フリスビー、ドッジが楽しか  
かったです。  
栗原しほ

ぼくが一番楽しかったこと  
は、自由時間にしたドッジ  
ボールとハンドベースです。体  
育館でドッジボールとハンド  
ベースをするのが一番楽しかった  
です。  
木村井瑠吾

ぼくが一番楽しかったことは、  
みんなと校舎外をめぐったり  
野球をしたことです。  
ありがとう前沢小学校  
山本ひびき





「こんなクラスにしたい!」 みんなの願いを込めて作った学級目標

# 5年生 思い出の写真 コレクション



手で苗を植え、米作りの苦労を実感した田植え体験学習



世界文化遺産のすばらしさを、自分の目で見て感じて学んだ春の遠足



気持ちのよいやり取りを目標に取り組んだ英会話科の学習



自分の目当てに向けて一人一人が全力でがんばった黒部市連合体育大会



「前沢小学校校歌」への思いを込めて歌った「社会を明るくする運動」での校歌二部合唱発表



苦労とともに収穫の喜びを実感した稲刈り体験学習



宿泊学習：みんなで励まし合いながら全員が頂上まで登り切った来拝山登山



日本の伝統文化に触れながら自分なりの工夫を重ねて仕上げた「日本画」制作体験



宿泊学習：みんなで考えた「前沢小学校と前沢地区のよさ」を発表した学校紹介



黒部峡谷の雄大な自然を満喫したトロッコ電車乗車体験学習



自己ベスト記録を目指し、ゴールまで全力で走り抜いた100m走



上田萌衣先生と一緒に学習、運動、行事などにがんばった10月～12月の3カ月間



142年の歴史と伝統に感謝し、前沢小学校への思いを込めて全校で校歌二部合唱をした創校記念式

朝倉 真白  
一番の思い出は、  
来拜山登山です。初めての  
山登りだったけど、  
標高899mの山に  
無事に登れて、とても  
うれしかったです。  
前沢小学校の皆様!

朝倉 陽花  
私の一番の思い出は、  
みんなと体育館で遊んだこと  
です。特に5、6年の女子でバスケット  
をしたことです。みんなと  
楽しくしゃべることが  
できました。  
ありがとうございます前沢小  
学校。

前本 悠太  
一番の思い出はよい友達  
ができたことです。おかげ  
で楽しい思い出がたくさん  
できました。大人になっても  
前沢小学校のことは  
おぼれません。

幅口 佳七歩  
前沢小学校は笑顔でいられる  
学校だと思います。  
一番の思い出はプール  
です。一年生からずっと使  
てきたのでたくさんの  
楽しい、がんばった思い出  
が思い出されます。

From 5年生 To 前沢小学校  
**思い出と感謝のメッセージ**



栗原 邦花  
わたしの一番の  
思い出は最後の大会です。  
一番がんばって競技は、みんな  
です。お母さんと協力してがんば  
りました。思ったよりもはやく進  
めたのでうれしかったです。  
この前沢小学校の思い出  
をたれません。

市井 朋香  
わたしの1番の思い出は、  
毎日5年教室で授業を受けたこと  
です。分からない問題はクラスの  
みんなと協力して解いた  
ことや、答えが分かったとき  
のスッキリしたときが一番  
気持ちよかったです。この  
前沢小学校の思い出を  
おぼれません。

鳥居 航汰  
ぼくは、休み時間にグラウンド  
や体育館で遊んでいます。  
とても楽しかったです。  
これからも友達と楽し  
く遊びたいです。

城寺 美空  
私は前沢小では他校で  
はできない体馬券や少ない人  
数の発表もたくさんできま  
した。そのおかげで、色々な事に  
積極的に取り組める  
ようになりました。  
この力をこれからも生かして  
いきたいです。

湯野 翔  
一番の思い出は体育館  
で遊んだことです。友達と  
一緒に遊ぶ時間から  
とても楽しかったです。これ  
からも友達を大切にし  
ていきたいです。そして  
前沢小学校での思い出  
を大切にしていきたい  
です。

松倉 来斗  
前沢小学校は、  
楽しい学校だと思います。  
一番の思い出はスキーです。  
たくさん楽しめたスキーの日は、わく  
わくしました。  
前沢小学校の思い出を  
忘れないでこれからもか  
わいていきます。

6年生  
の思い出



白川郷、歴史の町へ！



スター花壇を美しく

力を出し尽くせ！



選手のみなさん、



荻原 道さん講演会



秘境・黒部峡谷にて



宇宙に届け、73の光



全員で登頂！



すてきな思い出がたくさんありました。





休み時間  
バスケがしくて  
急ぎ足  
たどり着くのは  
体育館 長谷悠莉

グラウンド  
記録更新  
「やったあ」と  
みんなに自慢  
とても快感  
山本領季

6年間  
たくさんあった教室で  
喜び楽しみ  
よみがえる  
川田 おやみ

グラウンド  
大きな声で  
応援を  
勝つうれしい  
最後の運動会  
宮井 楓

体育館  
みんなといっしょに  
楽しいな  
ドッジボールで  
さあ球投げる  
中田修貴

図書室で  
大好きな本を  
読み返し  
本の世界に  
とけこむ私  
山本 葵

夏休み  
前沢プールで  
完全せいはい  
もらったメダルは  
私の宝物  
時愛希

友達と  
心を合わせた  
音楽会  
練習重ね  
夢のステージへ  
香取 由菜

前庭で  
おもい出りっほり  
クラブ活動  
みんなで楽しく  
かんけりをした  
林 晴也

グラウンド  
みんなであそび  
汗をかき  
そんなことなど  
気にならないほど  
松井 勝丈

思い出す  
校長室で  
野球秋言古  
盛り上がったぜ  
ぼくの夢トーク  
中野 友樹

グラウンド  
上級生と  
蹴球で  
ゴールをめざし  
シュートを決める  
尾花 幸樹

バスケット  
上達できた  
体育館  
シュート入って  
心がはずむ  
舟子 結菜

グラウンド  
学校最後の  
運動会  
団長やって  
悔いはなし  
朝倉 七海

# 前沢スポーツ少年団のあゆみ

## 前沢タイガース

- 昭和53年 6月8日 前沢チーム野球スポーツ少年団結団式
- 昭和56年 10月20日 夜間照明施設完成
- 昭和58年 第5回市長旗争奪少年野球大会優勝
- 昭和59年 第6回市長旗争奪少年野球大会優勝
- 平成3年 第10回市長旗争奪少年野球大会優勝
- 平成9年 4月1日 前沢タイガースにチーム名変更
- 平成16年 第23回市長旗争奪少年野球大会優勝
- 平成27年 第34回市長旗争奪少年野球大会優勝
- 平成27年 第31回若鷺旗争奪少年野球大会優勝
- 平成27年 10月 前沢タイガース・三日市ベアーズ合体し、桜井ホークスとして活動開始【初代キャプテン 鳥居航汰】



基礎・基本を前沢タイガースで学びました。  
「心・技・体」 & 「走・攻・守」の三拍子！



### 先輩方の活躍（桜井高等学校）

- 昭和54年 第61回全国高等学校野球選手権大会出場
- 昭和58年 第65回 //
- 平成2年 第72回 //
- 平成19年 第89回 //

## 前沢バンビーズ

- 昭和56年 4月1日 前沢バンビーズスポーツ少年団登録
- 昭和58年 5月1日 結団式
- 児童クラブ対抗ミニバスケットボール大会
  - ・昭和58年 2月 第1回大会優勝
  - ・昭和59年 2月 第2回大会優勝
  - ・昭和60年 2月 第3回大会優勝
  - ・昭和62年 2月 第5回大会優勝
  - ・昭和63年 2月 第6回大会優勝
  - ・平成元年 2月 第7回大会優勝
  - ・平成2年 2月 第8回大会優勝
  - ・平成6年 2月 第12回大会優勝
  - ・平成7年 2月 第13回大会優勝
  - ・平成8年 2月 第14回大会優勝



- 平成22年 3月31日 解団
- 平成23年 4月 黒部ミニバスレインボーズと合体



# 継承

校歌に込められた願いを受け継いで、  
栄えと誉れいつまでも…



左 義長

☆校歌二部合唱への道  
☆朝倉豊次氏について

# 校 歌 — よみがえれ校歌 二部合唱で —



昭和28年10月制定

作詞完成 8月8日 (朝倉豊次)

作曲完成 10月6日 (橋本秀次)

校  
歌

朝倉豊次 作詞  
橋本秀次 作曲

一 立山の

千代にかわらぬ けだかさを  
自然の教えと 仰ぎつつ  
楽しくはげむ この学舎に  
若き力ぞ みちみてり  
ああ 我が前沢校に  
栄えあれ 栄えあれ

二 有磯海に

真理の深さ きわめなん  
望みにひとみ かがやきて  
つどいいそしむ この学舎に  
智徳のはなの におうかな  
ああ 我が前沢校に  
誉れあれ 誉れあれ



旧前沢小学校の桜

立山は長い年月が経ってもずっと変わらず、品格があり（見た目が雄大でどっしりとしている）優れています。みなさんも立山のようになるようがんばってください。今、みなさん一人一人が力を出し切って、勉強や運動に友達と励まし合って取り組んでいます。いろいろなことが分かり、できるようになり楽しいことでしょう。もともと前沢小学校が栄えるようがんばっていきましょう。

四〇〇〇mの深さがある有磯海（富山湾のこと）の深さに負けないくらい、正しくいつでも通用する知識と判断する力をもてるようがんばってください。今、みなさん一人一人は、希望をもって瞳をかがやかせて学校生活を送っています。校舎内に勉強で身に付けた知識とよい行いが溢れています。前沢小学校のよさとすばらしさがもっともっと広まるようがんばっていきましょう。

## 歌い方について（作曲者橋本秀次氏の手紙より）

全体を明るく生き生きと唱う。

- ☆「前半」
  - ・真面目に軽くレガートで唱い流す。
- ☆「楽しくはげむ」から
  - ・マルカートに、アクセントをはっきりと唱う。
- ☆「ああ、我が」から
  - ・思いっきりふくらませる。
- ☆「前沢校に…」から
  - ・始めをちょっと弱めに（と言っても、十分に響き渡るように）唱いだし、少しずつクレッシェンドに唱う。
- ☆「栄えあれ」
  - ・一番力強く、たっぷり唱い終わっていきたい。

## 二部合唱へのあゆみ — 昭和28年の校歌制定当時の譜面より —

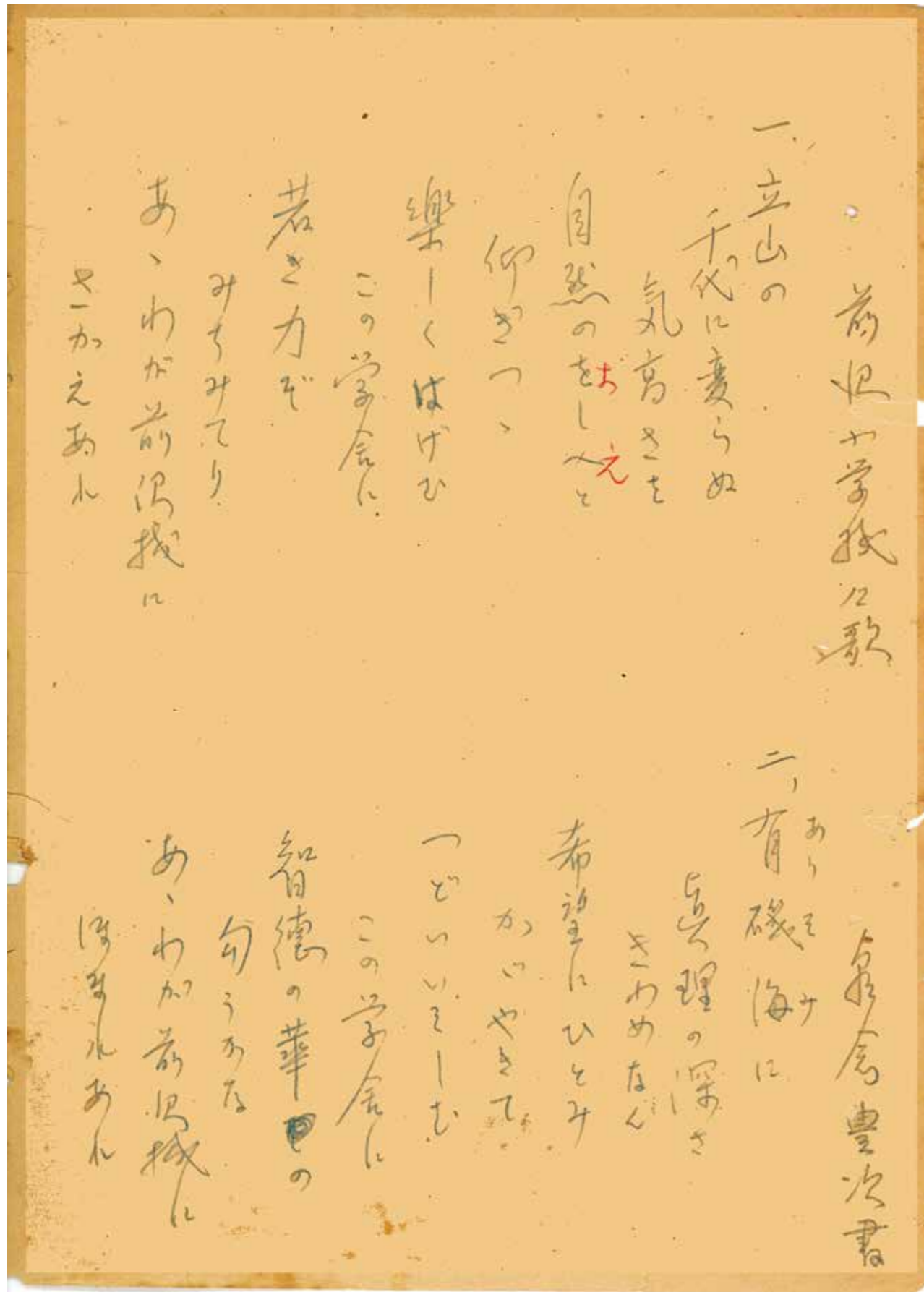
- 5月：作詞者「朝倉豊次さん」と校歌の意味についての説明、校歌練習
- 7月：「社会を明るくする運動」で4・5・6年生披露（市民会館）
- 7月：第6学年の立山登山、校歌歌詞・子供たちの思いをメモリアルストーンとして雄山山頂に置く。
- 8月：作詞者「朝倉豊次さん」のご令嬢 荻原 道さんに披露
- 9月：ありがとう前沢小学校大運動会 地区・保護者とともに合唱
- 10月：第142回創校記念式 全校児童で二部合唱
- 11月：公民館まつり 全校児童で二部合唱
- 2月：感謝の集い学習発表会 地区・保護者とともに合唱
- 3月：閉校式



第142回創校記念式での披露



昭和28年寄贈のピアノで伴奏



昭和28年8月8日 朝倉豊次氏直筆



前澤小学校校歌 作詩 朝倉豊次 作曲 橋本秀次

$\text{♩} = 104$  いきいきと

1. たてやまのちよにはかわらぬけ  
2. ありやまにしのぶひき

たかさとしせいのおしごとあ  
わらんかまにいとけい

かさちからぞちみりああーわーが  
まえりけいさかえあれさかえあれ

昭和28年10月6日 橋本秀次氏直筆

# 朝倉豊次氏 胸像の建立について

(出典 朝倉豊次先生を偲ぶ 昭和61年10月5日発行 前沢振興会)

## 序

前沢振興会長 発起人代表 中野小次郎

朝倉先生の治績を顕彰すると共に、少しでも、次代を担う青少年育成の鑑として生かしたいものだと、後輩の前沢の有志が語らい、「胸像の建立」と、「朝倉豊次先生を偲ぶ」読み物発行の動機がわき起こりました。

## 趣意書 (抜粋)

(略) 校下の有志が集い、朝倉豊次先輩の遺徳を偲び、その治績を顕彰すると共に、次代を担う青少年達の生きた鑑として後世まで永く残したいものだと語らいました。早速その具体策として、前沢小学校に隣接する用地(市有地)を学校芸術広場・憩いの場に造成し、朝倉豊次先生の胸像や前沢出身芸術家の彫塑や学童等の作品を配置し、植樹するなど、豊かな芸術園・憩いの広場をつくりたいものであります。

朝倉豊次先生の胸像作りの件については1月6日に郷土出身日展作家浦山一雄氏の快諾を得ています。何とぞ市当局、市議会の各位には、青少年健全育成を目指す前沢区民の熱意に賛同くださいます、この大事業にご協力くださいますようお願いする次第であります。

昭和61年4月1日

発起人(代表)前沢振興会長 中野小次郎

黒部市長 萩野 幸和 殿

黒部市議会議員 松島 作治 殿

# 朝倉記念像の建立に寄せて

中西清一

郷土の偉人、朝倉豊次先生は、前沢に生まれ前沢で育ち、その後、海軍兵学校を経て軍人としての努力と栄光の道を進まれたのであります。そして終戦を迎え、昭和24年に、郷里の前沢に戻られて、その後17年間は、黒部市のために名実ともに献身的な活躍をされ、その業績には偉大なものがあります。

私は直接仕事を共にしたこともなく、じっくりご意見を拝聴したことも多くはありませんが、子供の頃から尊敬していました。しかし先生にお会いしたときの印象は、きわめて丁重で気骨のあるがっしりした大柄な体格で、太くて黒い口ひげをつけられた姿はいかにも偉大な人格者を思わせたものです。往年の、軍艦「武蔵」の艦長として活躍された姿を想像すると、近寄り難い感じもするのですが、実際に接したときは真に温かく、もの和らかく気品がただよって親しみを覚えました。黒部市が市制30周年記念に発刊された「朝倉豊次著作集」などを拝読しますと、苦勞と努力によって得られた栄光と、そして生への極限を身を以て体験された尊い人生がうかがわれ、ただただ頭の下がる思いがします。

とくに、黒部市の初代教育長として手腕を発揮され、そして公職を辞された後も、自ら求めて、青少年健全育成のために病身もかえり見ず、数多くの講演や、各種の活動をなされると共に、日本の将来について語られた由、凡人の出来る業ではなかったと考えられます。本当に素晴らしい方でした。

朝倉先生が残された、朝倉教育賞と共に、ここに前沢の有志が集って記念像を新しい前沢小学校の前庭に建て、先生の立派な業績と人柄を後世に伝えて、あとに続く人材が育ってゆくことを願うことは真に意義深いことと考えます。

昭和61年9月5日

# 朝倉豊次さんの遺墨について

— 甲辰文化の日（昭和39年11月3日） —

晴れた夜空を唯だ一人仰ぐと…。

無限に広い大宇宙一、数千万の☆がきら、と輝いている。夫々の光や色、大きさが異っている。銀河の流れなど不可思議な大宇宙、平和そのものである。

この小さな一つの星、即ち私達の住む地球内はどうであろう…。花いっぱい咲きほこり鳥鳴き、数十億の人々が互いに愛し助け合っ、て平和な世界をきづきたいものである。どうしてこの米粒程のこの地球内に戦争という民族間の悲劇が絶えないのだろうか。地球から戦争という不幸を除きたいものである。

敗戦後の精神的肉体的の苦しみの二ケ年間、…南方の独房の小さな窓から見える夜空の星は唯一の慰めであり、限りなく連想されたのは寝食を共にした同胞・親子、郷土の人々の事、遺族様方や日本の将来の事などであった。日々神佛の加護を祈るのみと述懐しておられた。…この心境ではなかろうか…。



【「海に生きた朝倉豊次少将」 黒部市教育委員会発行 昭和50年5月より原文を記載】

# 朝倉豊次氏 経 歴

☆1894年7月6日 - 1966年1月27日

☆富山県下新川郡前沢村出身

本籍 富山県黒部市前沢476番地

住所 黒部市前沢1867の1番地

☆戦艦武蔵艦長(日本海軍の軍人、最終階級は海軍少将)

富山県に戻った後、前沢村などが合併して成立した桜井町の助役、教育長を経て、同町などが合併して成立した黒部市の初代教育長を務めた。

前沢小学校校歌の作詞者

## 学 歴

明治27年7月6日 富山県下新川郡前沢村（現黒部市前沢）で誕生  
明治33年4月1日～明治37年3月31日 前沢小学校尋常科（4年）  
明治37年4月1日～明治41年3月31日 三日市小学校高等科（4年）  
明治41年4月1日～大正2年3月31日 県立魚津中学校（5年）  
大正2年9月3日～大正5年11月21日 海軍兵学校（3年）  
昭和3年12月10日～昭和5年11月24日 海軍大学校（2年）

## 軍 歴

1916年（大正5年）11月21日 海軍兵学校（44期）卒業  
1917年（大正6年）12月 海軍少尉任官  
・「羽風」「迅鯨」の各砲術長、海兵教官兼監事を歴任  
1930年（昭和5年）11月 海軍大学校（甲種28期）卒業  
12月 第二水雷戦隊参謀  
・第2艦隊参謀、軍令部参謀（第1班第2課兼第1課）、軍令部部員（第1部第2課兼第2部第3課）を歴任  
1933年（昭和8年）11月 海軍中佐に昇進  
1934年（昭和9年）11月 連合艦隊参謀兼第1艦隊参謀  
1936年（昭和11年）12月1日 海軍省教育局局員（第2課兼第1課）



朝倉豊次氏直筆

- 1938年（昭和13年）11月15日 海軍大佐  
12月15日 「石廊」特務艦長
- 1939年（昭和14年）9月1日 海兵監事兼教官、第2艦隊司令部付を歴任
- 1941年（昭和16年）8月15日 「高雄」艦長に着任し太平洋戦争を迎えた。
- 1943年（昭和18年）2月 艦政本部出仕  
3月5日 艦政本部総務部第2課長兼総務部臨時魚雷艇班班長、連合艦隊司令部付を歴任  
12月7日 「武蔵」第3代艦長
- 1944年（昭和19年）5月1日 海軍少将  
8月16日 第1南遣艦隊司令部付に転じ、第1南遣艦隊参謀長兼補給長
- 1945年（昭和20年）1月8日 第13航空艦隊参謀長兼第1南遣艦隊参謀長  
2月5日 第十方面艦隊参謀長兼第13航空艦隊参謀長兼第1南遣艦隊参謀長として昭南島（シンガポール島）で終戦を迎えた。
- 1948年（昭和23年）3月 解員
- 1949年（昭和24年）9月25日 神戸に帰還

**社会歴**

- 1952年（昭和27年）4月1日 前沢村などが合併して成立した桜井町助役
- 1952年（昭和27年）11月1日～1954年（昭和29年）3月31日 桜井町教育長
- 1954年（昭和29年）4月1日～1963年（昭和38年）4月2日 黒部市の初代教育長
- 1966年（昭和41年）1月27日 死去（71歳）

**黒部市朝倉賞【昭和42年2月25日公布】**

多年に亘り、本市教育行政に尽すいせられ、郷土の繁栄と明るい町づくりに生涯を捧げられた、偉大なる教育者 朝倉豊次殿御遺志により、青少年教育のために御寄付された浄財を基金として、毎年度義務教育修了する中学生から優良生徒を選衡の上、その善行をたたえ表彰状と銀メダルを贈って顕彰するものである。

**荻原 道さん**（戦艦武蔵艦長・朝倉豊次氏のご息女）のお話会

— 平成27年8月6日（木） 午前9時30分から11時 —

目 的

(1) 平和・郷土愛の醸成

- ・幼少期に戦争を体験した荻原さんの疎開の生活の様子や当時の気持ち等を聞くことにより、戦争の悲惨さを感じるとともに平和の大切さ・すばらしさを実感する。
- ・辛く苦しい生活の中で、仲間と助け合って乗り越えた経験談を聞くことにより、友達と助け合い励まし合うことの大切さへの思いを深める。

(2) 学校・校歌への思いの深化

- ・校歌を作詞されたお父様の考えや願いを聞くことにより、学校や校歌に対する思いを深め、これからの自分の成長に役立てる。

(3) おもてなしの心の育成

- ・作詞者のご息女をはじめ地区の方に校歌合唱を披露することにより、おもてなしの心の大切さを実感する。



○「戦争中、私は黒部市に疎開し、前沢小学校に通いました。前沢のみなさんは、とても心が優しく、温かく接してくれました」  
○「平和な世界を築くために、教育は大切です」



昭和28年に寄贈されたピアノで伴奏し、校歌の二部合唱を披露しました。「ありがとう。感激しました」と、言葉を残して京都に帰られました。



# 父のこと

三女 荻原 道（昭和11年7月24日生 38歳）  
（昭和19年8月22日、前沢小学校へ縁故疎開入学）

私の中の父の始まりは広島からです。物心のついた時はすでに、キチッと軍服に身を固めた父でした。江田島の兵学校の生徒隊監事だったので、官舎で生活していました。

日曜日には、生徒が家を離れて、家庭の味から遠ざかっている人ばかりだから、少しでも家庭の味を味わわせてあげたいと思ってか、必ずと言っていいほど、毎週分隊の生徒さん達を招いて、母の手料理を出させる父でした。「安月給」という、決まりきった月給の中で、5人の子供を育てながら、毎週10人余りの喰い盛りの若いお客様（生徒）をもてなす、母の苦労は大変だったろうと、今頃ようやく気づく年に私もなりました。

それはさておき、若い生徒さん達と楽しく話しながらよく食べる父でしたので、気兼ねなく遊ぶ生徒さん、私はよく父の膝に乗りに行き、父の器用なくし芸をよく拝見したものでした。

その後、何か世間がざわめいてきた頃、父はまた転勤先は海上で、父一人が江田島を離れ、私達母子だけが東京へ帰りました。いつでも転勤になるときは、父が一人先に行き、後の荷造りやら発送、学校の転出転入届など手続きは、後に残った母の忙しい仕事でした。

何ヶ月か過ぎた頃、又、父は海軍省に務めて、しばらくお役所通いが続きました。子煩悩な父の膝に上がり込んで、絵本などを読んでもらい、母に遅刻しますよとうながされる父でした。

5歳頃だったと思います。私は夕方一人で7分ほど離れた駅まで行って父を待ち、黒い軍服を見つけると、仔犬のようにじゃれついて、大きな肩に抱かれて帰ったりしました。小さくて末っ子の私は、きちっとお行儀よく、それでいて甘い父にずい分甘たれました。のびのびと暮らしたお転婆な私が、木登りをしたときや、いたずらをしたときなどは、母に叱られましたが、父に叱られた記憶は全くありません。小学校へ入るまでは航海に出ても、時々入港があって早く寝た私が目を覚ますと、茶の間で、大きな柿をおいしいおいしいという父でした。私もつられて、つい一口かじると、渋くて渋くて…、父はだまっていました。茶目気な父、だまっている母、姉も渋かった柿を食べさせられ、今でも時々思い出します。柿は好物で、後に庭に植えられました。

ある一日、家族が軍艦を見学につれて行ってもらいました。父の艦長室にはとてもいろいろな設備がそろっていて、「ホテル」のような部屋でした。食事のとき、お給仕の水兵さんが入り口に立っていらっしゃいました。窓から艦の外の方を見ると立っている人が遠く小さく見えるのに驚き、こんな艦の艦長さんって、「ずいぶん偉いんだな」と感じました。

叱ることのない父でしたが、夏の或る日、遊びにみえた兵隊さん達にアイスクャンディーをお出ししたとき、ひどく叱られました。今ではキャンディーやクリームは病人でも栄養源になることもあります。その当時は不衛生な食物で赤痢とまではいかなくても下痢や食中毒の原因となることの多い時代でしたので、大事な兵隊さん達に、もしもの事があつたらどうするのだ…と、それは、それは厳しい、びっくりする顔でした。

小さかった頃の私には、戦争とはどのようなものか知りませんでしたが、ある日、熱海へ連れて行ってあげるといわれて、大喜びで昼すぎ出かける用意をしてもらっているとき、空襲を告げる不気味なサイレンが「ウーンウーン」と鳴り出したので、父は大いそぎで艦へ引き返しました。すべての計画が終わり…家中みんな心配しました。

その後、いよいよ戦争も激しくなると、父にも「今度こそ…が」という覚悟があつたのでしょうか…。これらも日頃軍務のため留守がちな家族への思いやりであつたのでしょうか。その後、郷里の祖母をもお招きして、一緒に熱海行の約束を守ってくれました。一そしてすぐ出航した父、そのまま、9年近く父の顔を見ることができませんでした。—

いよいよ戦況が悪くなり、東京では学童疎開することになり、恒子姉さんと二人で、父の郷里の前沢に縁故疎開（昭和19年）をし、前沢校に入学、一年半程祖母のお世話になりました。祖母は若いときに未亡人になって、とても厳しいお姑さんに仕え、苦勞なさったそうです。その姿を見てか、父はとても親孝行で、よく百姓の手伝いをしたそうです…。お祖母ちゃん…「お父さんも赤ちゃんだつたの…」と聞くと、「うーん、田圃で生まれかかって、六天の実家へも行かれなんだちゃ…、夜中によく泣く子で、約百ヶ日間、夜中に負うて、外へ出て振って歩いたちゃー」と聞かされました。また「学校では頭がよーて、家の手伝いもようする子やった、草刈りが上手で、朝、ちょちょこと行って、一束刈ってきて、馬の世話しとったちゃ、魚津の中学校へも二里の道を、冬は雪が腰までつかって、わらじで通ったら、ズブズブ濡れとって…、未だに冷え性になって治らんがやろう！又、学校では勉強できたちゅことやれど、家では手伝いばかりやったちゃ…」と話してくれた祖母、その祖母を以前は何処へでも転勤地に呼んで案内した父でした。軍港地のほとんどと、東京など祖母は誰よりも、よく知っていました。

終戦後、私の一家は極度の貧困と食糧難におちいり、生活の大変なときでした。それなのに、私が5年生のとき、わけの分からぬ高熱を出し、40日ほど寝込みました。兄や姉、母に大変苦勞をかけ、父が遠いシンガポールから英軍の航空食の缶詰を送ってくれたのも、みんな私の栄養食になりました。

父は敗戦後長い間、熱い熱いシンガポールで拘留され働いた。収容所生活で栄養失調になり、昭和24年9月末に「青ブクレ」で帰国してきました。待ちに待った父、その朝、次兄の俊二と姉と私の3人と、親戚の人々が駅へ出迎えました。一番上の兄は海上保安庁の船に乗っていて、いませんでした。父は栄養失調と急に生活が変わり、衰弱していたので、半月ほど床につきました。

それからの父は、家族の生活状態や子供の就学等に悩みが多かったようです。追放のきびしい時代でしたので、就職も思うようにまかせず、下駄工場へ通いました。既に終わろうとする余生を、なんとか郷里の役に立ちたいと思う父だったのでしょうか、自分の思う郷里の教育のことに精一杯働いた父、郷里の母の地に骨を納めた父、約束を守ることにやかましい父、いいわけを許さない父…、いろいろ思い出されます。

結婚により私を手離すのに涙ぐんだ父！

嫁ぎ先での私の立場を考えて、…気をつかい…、京都の宇治川のほとりで、母と二人でパン食ですませてきてくれた父、あれこれと思いはかけめぐります。

この父にはやはり、幼いときから身をもって教え、育て、支え見守ってくれた祖母があったのです。また、どんなときにも安心してまかせられる、そして明るくて不平なく、てきぱき事を処理し、自分についてくる妻（母）があったればこそ、父は海軍に於いて、又、社会に於いて、家庭に於いて、思う存分働かれたのだと思います。

私はこんな父と共に母をもち、誰にも自慢できます。

この父母を手本にして、これから先も頑張りたいと思います。 （昭和49年10月記）

【「朝倉豊次先生を偲ぶ」 前沢振興会発行より、原文を記載】

# 記 憶

友や先生と語り活動した思い出  
校舎のあちこちに残る思い出

元気いっぱい 思いやりいっぱい  
しあわせいっぱいの前沢小学校

この記憶を大切に…

☆卒業生からの寄稿

# 木造旧校舎の思い出

昭和25年度卒業

城 幸 男

閉校の記念誌発行にあたり、寂しい気持ちになっています。少子化による時代の推移と分かっているにもかかわらず、いざ閉校となると、残念の気持ちでいっぱいです。私たちの小学校時代は、昭和20年4月入学、つまり、終戦前の入学で4、5か月後の8月15日に、終戦を迎えました。グラウンドは麦の畑となり、食糧不足と物不足で、責任ある大人は大変な時代だったと思います。旧校舎は、当時としては木造の立派な学び舎だったと思います。1階は入り口から宿直室、1年生、2年生の教室、理科室、職員室や炊事場などがあり、2階は入り口階段から3年生、4年生、5年生、6年生、物置などと並んでいました。2階の廊下の長さは36間（65.5メートル）であったと思います。私たちのクラスは、4年生頃から逆立ちの練習が流行し、6年生になる頃には廊下の端から端まで約65.5メートルを逆立ちで歩行できるようになったクラスの男子は半数くらいになりました。小学校で、これだけできる生徒は当時としては素晴らしい事だったと思います。後に、高校で逆立ち歩行の競技があり、前沢小学校出身者が上位を独占していました。

旧講堂の建屋が古ぼけて危険になり、昭和22年頃新しい講堂（体育館）が新築されました。渡り廊下の外側には、記念樹として桜の木が植えられました

（昭和23年）。それが現在、黒部市の給食センターにある桜の木です。

そして、古い講堂が取り壊され、グラウンドとして使用されました。それでもグラウンドの中央に、1周80メートルのコースをとるのも一杯一杯でした。

さて、142年の歴史のうちにはどのくらいの生徒が巣立たれたか分かりませんが、私たちの時代は、全校で240名以上の生徒がいました。時代が変わり、大変な時代を迎えたものと思っています。これからの生徒の皆さんには、やろうとすれば何でもできる、素晴らしい環境があるわけですので、親子、家族共々に教育の原点に戻って頑張ってもらいたいと思います。がんばれ前沢っ子!!



僧ヶ岳



# 前沢小学校閉校にあたって

昭和26年度卒業

松井幸吉

私が入学したのは、昭和21年で終戦の次の年でした。私たち41名は、1年から3年まで山下先生に4年から6年まで有倉先生に教えてもらいました。

敗戦国ですから、物も食糧も不足しており、食べることに一生懸命でしたので、学校より農業の手伝いが大切な時代だったように思います。

それでも遊ぶことは、今の子どもたちと変わらず、夏は大人の昼寝の間に目を盗み谷川へ行き、魚を捕まえ、水遊びをして、時の経つのも忘れて夕方帰りました。そんな晩は、父の顔をまともに見られず夕飯のまずかったことを思い出します。

また、自動車のない時代ですから、十二貫野地区からの登下校は大変で、道中のエピソードもたくさんあったようです。冬は下宿している子もいました。

その頃の校舎は、現在の黒部市立学校給食センターの位置に建っていました。木造2階建てで、体育館兼講堂へは渡り廊下がありました。

学校給食センターの前にある桜は、確か旧の体育館を建てた記念に、渡り廊下の近くに植樹されたものと聞いています。

この桜は、毎年春になると見事な花を咲かせます。給食センターが建つ前に小学校時代を思い出し、同級生で花見の会をして、昔を偲んだこともありました。

前沢小学校が閉校することは、名残惜しく残念ですが、時代が変わって道路や社会資本の整備が進んだ今、やむを得ないことかと思われまます。今後は、子どもたちにより合理的な教育環境となることを期待するものです。

学童の皆さんも、学校がなくなることは寂しいことですが、少ない人数で“前沢っ子”として、勉学にスポーツに一生懸命頑張ってきました。よい思い出もたくさんあることと思います。

桜の花の咲く頃には、桜井小学校に登校です。新しい学校では、友達をたくさん作って、これからは“桜井っ子”として活躍してください。

# 前沢小学校の閉校について

昭和27年度卒業

前多勇

前沢地区民が愛してやまない前沢小学校が、今年度限りで三日市小学校と統合し、142年の歴史に終わりを告げることは誠に残念であります。全国的に児童の減少にはどめがかからず、教育環境を維持するためには学校の統廃合は仕方の無いことと思えます。

長い歴史の中で、私が在校した6年間はほんの一時的にすぎません。私が前沢小学校に入学したのは、終戦後間もない昭和22年4月でちょうど、桜井町立前沢小学校と改称された年でもありました。終戦直後の日本は経済が混乱し国民は食糧難に苦しみ耐えた時代でした。現代の飽食社会からみると、想像を超えた厳しいもので生涯忘れることはないと思います。

前沢小学校142年のあゆみの中で、私を含めて父親から孫に至るまで、4世代もの多数の親族が学び育まれています。時代の変遷とともに、校舎および付帯する設備等も充実し、その中で児童たちは、伝統あるこの学校の校風を守りながら、自然豊かなこの地で、のびのびとたくましく育っています。その姿は日常の行動で感じることができます。

現在の校舎や付帯する設備も老朽化して

いるとはいえ、閉校後に取り壊されることは誠にもったいないかぎりです。私の学んだ校舎は、現在給食センターが立地している場所に、木造2階建ての校舎と、前には1周100メートルの狭いグラウンド、校舎の後ろ側に小講堂。現在の校舎などと比べると、お粗末なものでありました。それでも当時は、「我が小学校」と誇りを持って学んだことを思い出します。

最近になって（閉校が決まってから）、前沢小学校の校歌を二部合唱で聞く機会を得ました。朝倉豊次氏が作詞されたこの校歌は、私が小学校を卒業した年（昭和28年10月）にできたもので、当時私たちは歌ったことがありません。後に、子供たちや孫たちが歌っているのを聞いて、自然に覚えたとても親しみやすく、よい校歌だと思います。それも閉校とともに消えてゆくのが大変寂しい限りです。現在の校舎ができて38年間、幾多の児童を育んだ前沢小学校の廃校とともに、三日市小学校へ統合し、新たに「桜井小学校」として再出発することになり、感慨深いものがあります。恵まれた教育環境で今後、日本を担う人材が数多く誕生することを願っております。



# 今は形なき前沢小学校の思い出

昭和31年度卒業

山本邦子

前沢小学校もいよいよ少子化問題で、閉校になると耳にしていました。思い浮かぶのは、古びた懐かしい木造の建物の校舎でした。その校舎が廃校になり、今度は閉校、時代の流れの目まぐるしさ、年を重ねた私には侘しさだけが残ります。

思い出を、との言葉で記憶の乏しい私が、戸惑うばかり、小学校の6年間は、徐々に脳裏に浮かんできました。

私はどちらかというと、積極的に友達を作ることができず、また、先生にも「先生、あのね」と言えなかった自分。

でも、6年間という年月の中、3人の先生がそれぞれ教育方針は違っていたように思います。低学年のときの先生は、いつも優しい笑顔で、良いことをすると大いに褒めてくださり、嬉しかったのを覚えています。

4年生のときは、忘れ物をしたり、宿題を忘れたりすると継ぎのある廊下で立たされたり、細い青竹で叩かれたりで（今の時代は問題だけど…）子供ながらに緊張の1



年間でした。

高学年のときは、一人一人の考え方を、重んじてくださったように思い、充実した小学生時代を過ごせたような気がします。

いろんな思いが、たくさんありました。内気な私は、学芸会でおばあちゃん役を言われたとき、また、児童会長選出の応援をさせられ、先生にいやとは言えず、演壇で何をしゃべってきたのか、頭の中は真っ白だったこと。下校のとき、家が近かったので、冒険できる道草なし、友達と楽しくおしゃべりできなかったことが、とても心残りでした。

友達と言えば、私たちの学校は、布施山分校がありました。5年生から、分校の友達と共に机を並べて学びました。一緒になるときは、不安と喜びでワクワクしたのを覚えています。

振り返ってみると、小学校時代の基礎、恩師、友達との出会い、そして、大事な親あってのお陰です。

小学生時代に、三者（親、恩師、友達）の輪の中で、育てていただいたお陰で、現在人前に出て、ボランティア活動に励んでいます。

# 私の小学校時代

昭和33年度卒業

竹内 齊

私が小学校に入学したのは、昭和28年で63年も前になります。月日の経つのが早いには、ただただ驚くばかりです。

私は入学式、また1年生の頃のことはほとんど記憶にありません。家にあるアルバムの中に、1枚だけ当時の写真があります。

1年生の入学写真だと思います。写真の背景は、古い講堂の道路側にある出入口です。生徒は48人で前列の中央には、長谷川校長先生、その両隣には西田敦子先生と、布施山分校の西本綾子先生です。先生はスーツでネクタイ姿、生徒は前列の半分は靴無しの素足です。男の子は長ズボンあり、半ズボンあり、女の子もスカートあり、ズボンあり、服装はバラバラです。当時の時代背景が出ているように思われます。

私たちが入学した時は、桜井町でしたが昭和29年に黒部市になり、学校も黒部市立前沢小学校と校名が変わりました。当時の私たちは2年生の頃で、どこまで理解していたのか分かりません。とにかく式典があり、紅白の饅頭をもらい、新しくできた黒部市の歌や鼓笛隊で行進の練習をしたものです。

3年生の時に、三日市小学校が火災で校舎が全焼となる災害がありました。三日市小学校の生徒は市内へ分散授業となり、前沢小学校へは私たちの1学年上の生徒が来ました。人数は、覚えていませんが学校が急に狭くなったようで、昼休みの運動場や

講堂はよくぶつかったりしたものです。初めの頃はお互いに話もできなかったのですが、一言二言話すうちに普通の付き合いをするようになっていました。また布施山分校での春の運動会に、綱引きの縄を協力して分校まで運んで行ったものでした。

布施山分校は、5・6年生全員が、前沢小学校へ通学するようになって、私たちの担任は、越湖政平先生になりました。男の先生は初めてでした。怒ると怖い、でも野外授業の時は、優しく頼りになる先生でした。図工の時間の野原に出ての写生会や、理科の植物の観察、また夏には石田浜への海水浴、冬は宮野山でのスキーなど、よく連れて行ってもらったものです。

6年間の思い出は涙したこと、笑ったこと、皆で協力し物事を成し得たこと、一生懸命勉学に励んだことなどたくさんありますが、すべてが楽しい思い出です。

私たち前沢小学校33年度卒業生は今年古希を迎え、同窓会をします。当時の思い出を語りあいたいと思います。



# 小学校時代の思い出

昭和34年度卒業

池野恒郎

思い出と言いましても、卒業後もう60年近く経過し、記憶もおぼつかないが、忘れられない思いをそのまま書いてみることにしました。

## ○楽しかった思い出

私の右手の小指、薬指は今でも曲がっています。これは、ソフトボールを素手（当時はグローブ等はなかった）で捕球していて、上手なものだから突き指をし、そのまま放置していたため曲がっているのです。昼休みの時間や放課後等によく遊んでいたのですが、ファールを打ち、校舎のガラスを割って叱られることもあり。グラウンドオーバー（ホームラン）で田んぼに入ったボールを取りに行き、田植えされていた苗を踏みつぶもしました。が、地主さんからの苦情はありませんでした。今思えばありがたいことでした。

また、冬はあの寒い講堂で（裸足だったと思います）休み時間は跳び箱で遊び、最大の8段を飛び越えられるかを競っていました。そして、8段をクリアしたら、その跳び箱の上に手をつけて、空中転回し着地できるかを競っていました。今から考えると、なんと危険な遊びをしていたのでしょうか。おかげで空中転回もできるようになり、誇らしげにしていたものです。考えると、子どもは風の子とよく言いますが、裸足でストーブにも当たらずよくやっていたものだと感心しています。

当時、運動会が春と秋の年2回行われて

おり、春は6月中旬頃だったと思いますが、布施山分校に全員歩いて行き、楽しい交流をしました。何よりも、地元の人たちが多く応援に来ておられたことを思い出しています。また、その帰り道には真黄色な野イチゴが多く実っており、皆で土手に駆け上がり味わったことや、のどが渇くと、湧き水を手に酌みガブ飲みし、美味しかったことが懐かしいです。

## ○給食の思い出

食器は全てアルミ製で、熱いものが入ると器を持つことができないので、苦労しながら食べていた記憶があります。特にミルク（脱脂粉乳）を毎日飲むことが苦痛でした。脱脂粉乳は器の中で膜を張り、それを箸で破り口に入らないように飲んでいましたが、それでも口元には全員白い膜がついており、皆で大笑いしました。今は貴重なもので、食べられなくなったクジラの肉が毎日のおかずとして出されていたが、私は嫌々食べていました。

## ○ストーブ当番の思い出

冬になると、当番制で朝早く登校し、給食室の横の小屋にある石炭をバケツ一杯にして教室まで運びました。家から持ってきたすん葉・細かい枝木等を種火にして着火させ、皆が登校するまで暖まるようにしていました。しかし、うまく着火せず、教室中が煙だらけになり、目が痛く慌てたこともありました。

## ○学校の思い出

現在の給食センターの建っている場所に旧小学校があり、当時は校門を入るとすぐ二宮金次郎の銅像があり、その横には、小さな池があり、鯉などが泳いでいました。また、その前には土俵があり、よくE先生と相撲をしてヒゲが痛かったのを懐かしく思っています。

グラウンドは、直線で45メートル×35メートルほどで狭く、運動会ではカーブばかりでよく転んだものでした。教室は、西側となっており、西日が射す午後にもなるとカーテンもないので暑くてたまらず上半身裸になり、罰として廊下に立たされました。しかし、廊下側は涼しく、快適で、「正解」と思っていました。

また、6年生の時、クラス全員の前で一

人ずつ成績をつけるために課題曲を歌うテストがあり、私は「真剣に歌っていない」とほうきで力いっぱい何度もたたかれました。もともと音痴で歌が嫌いだった私は、さらに嫌いになりました。今もカラオケのある店には行きません。勿論、通知票は1番2番という輝かしいものでしたが、なぜあれだけ叱られたのか、今でも理解できていません。

## ○終わりに

そのほかにもたくさんの行事、遊び、悔しいこと等思い出のある前沢小学校閉校は本当に寂しい限りです。長い前沢小学校の歴史に培われた精神は、この地を担っていく子どもたちに、新たな形で継承されるものと確信しています。



## 34 期生の宝物

昭和34年度卒業

此川和子

私たち22年生まれは、戦後ベビーブームの子供です。1クラスで48名でした。4・5年生の時は、篠崎校長先生でした。社会の授業や月曜講堂集会の時、いつもお話してくださいました。身振り手振りで何役もされます。今でいう一人芝居です。みんな、食い入る様に聞いたものです。

私事ですが、先日、ミュージカルの「レ・ミゼラブル」を観ました。物語が、「あの篠崎先生のジャンバルジャンだ」と思うと、劇中ずっと校長先生の演じてくださった様子が頭の中で思い出され、胸が熱くなりました。夢が叶うのならば、もう一度あの時の校長先生をみたいのです。私たちは、素晴らしいお話を聞いて育ったのだと思うと、本当に「びっくりポン」です。今の時代なら、何度でもビデオでみることができるのにね!!

もう一つの思い出。同級会の時、必ずみんなの話題に上がるのは、6年生の時の夜行遠足です。夏休みの夕方、校庭に集合して桜井駅まで歩き、電車で中村駅へ下車し、そこから上市の町を歩いて、大岩不動まで歩きました。真っ暗な中、歩いても歩いても目的地まで着きませんでした。夜が明けてきて、後方から朝一番の大岩不動行きのバスがきました。みんなで手を振り、タダで終点まで乗せてもらいました。大岩山に着いて、全員疲れ果て、お寺さんの広間で寝たことを覚えています。

みんなクラス会の時、先生に言います。「あの時一人でみんなを連れて行ってくれた本田先生ってすごかったね。いつまでも忘れない思い出をありがとう」と…年若い先生はいつも嬉しそうに笑います。誇らしげな顔で…。

## あ の こ ろ

昭和36年度卒業

心行寺住職 名越 誓

ら編入したそれぞれの子どもたちにも、すぐに仲のよい友達ができる。子どもは、新しい環境に慣れるのは実に早い。慣れるだけでなく、その環境への自己の最適化に日々努力し続けている。

前沢地区で生まれ育った私にとっては、「前沢小学校」の名前が消えるのは本当に寂しい気がする。これは、「三日市小学校」についても地区の人は同じ気持ちだろうと思う。長きにわたる思い出は深くて広い。校名は、それらすべての象徴としてある。

一方、子どもたちは未来に属している。多くの友達がいる新しい環境の中で、大きく育ててほしいと願う。「桜井小学校」はよい名前だと思う。皆さんご存じのように、謡曲「鉢の木」に出てくる「越中桜井の庄」で有名な「桜井」は、地域の歴史と伝統を感じる。子どもたち一人ひとりがこの地域の歴史と文化に深く根を張って、大きく育ち、それぞれの未来に勇気を持って立ち向かってほしいと願う。

私が前沢小学校に通ったのは、昭和30年代の初め頃から頃にかけてであった。しかし、1年生から4年生まで私たちが実際通学したのは、前沢小学校布施山分校だった。分校での同級生は、13人いた。複式学級のため、2学年で1クラスを作り、20数名で一人の先生が担任する。あのころは経済成長の始まった頃で、子どもも多く活気があったが、まだまだ貧しかったように覚えている。自然に囲まれて、ゆったりと流れる時間のなかで受けた授業が忘れられない。

分校からしばらく歩くと鎮守の森があって、私たち児童を草の上に座らせて、先生がイソップ物語など児童書を朗読してくださいました。一人ひとりの目がその日の青空のように輝いていた。

5年生からは、いよいよ本校に通うことになる。より多くの同級生たちと一緒に学び、遊べることに胸が膨らんだ。が、新しい仲間とうまくやっていけるかという不安もあった。不安はすぐに解消した。分校か

# 思 い 出

昭和36年度卒業

高 橋 文 子

昨年の3月、北陸新幹線が開通し、東京まで2時間30分ほどで行けるようになり、時代の変化がはやく感じられるようになりました。

一方、少子化のため、前沢小学校が平成28年3月で閉校することとなり、一抹の淋しさと、感慨深いものを感じています。142年の歴史と伝統に誇りと感謝を忘れてはならないと思います。

私たちが入学したのは、昭和31年の春です。木造校舎で2階建てでした。現在、跡地には市の給食センターが建っています。桜の木が数本植えられていて、春には花が咲き乱れていてとてもきれいでした。二宮尊徳の銅像も建っていて、横には池もありました。校舎の裏には、学年別の花壇もあって、皆で草取りをしたものです。廊下や教室の床は雑巾がけでした。寒い冬はフーフー言いながら一列に並んで拭き競争です。雪が吹き込んだ時もあり、寒かったです。

春は、分校で運動会が行われました。布施山まで歩いて行き、途中で木イチゴなどを採ったりして遠足気分です。分校の校庭は“赤土”なので転ばないように真剣そのものでした。一日が終わり、帰りも歩きで

現代の車社会では考えられない行程でした。

“自然の教えと、仰ぎつつ…”校歌のごとく写生会の時間は、谷川の土手を走り回り、草花を摘んだりして楽しい時を過ごしました。

冬は、宮野山でのスキー大会もありました。若林先生と、越湖先生にはたくさんの教えと思い出をいただきました。同級会では話で盛り上がります。

子どもの頃広く思われた校庭では、お盆に盆踊りが行われ、大人も子どもも一緒に踊り、幾重の輪になって“バンドリ”姿の人もいて、愉快的雰囲気の中で夜も更けていきました。

学芸会とか学校の行事には、地域の方々が集まって賑やかで、ほめられたり、注意されたり、声をかけられて見守られて育ちました。学校は、地域の拠点として行事や催し物が開かれ、大切な場所でした。

4月からは、前沢小学校と三日市小学校が統合され、「桜井小学校」となって児童は通学します。新しい息吹きを吸収し、希望と夢を持って、明るく楽しい学校生活を送ることを願っています。

# 布施山分校での思い出

昭和41年度卒業

黒部市交通安全協会前沢支部長 池 田 良 孝

夏にかけて、児童活動でソフトボールを暗くなるまで教えてもらっていました。そして、本校との試合で勝ったら、三日市の食堂でラーメンやカツ丼などをごちそうになるのが楽しみで、勉強以上に頑張っていたことを思い出します。

また、終わった後みんな下校の道々で柿、山栗、野イチゴ、あけびなど採りに行ったこともあり、とても楽しかったことが思い出です。現在の児童たちが、うらやむような自然の中で、遊び学んだことが、分校での大きな宝物になっている気がします。

私は、前沢小学校で学び卒業した全児童に、よい思い出を誇りに思って、新しい道に進んでほしいと願います。そして、現在の児童たちには、桜井小学校という新学校へ行っても前沢小学校で学んだ思い出を大切にもってほしいと思います。

# 前沢小学校に関する思い出

昭和45年度卒業

前沢小学校PTA会長(平成18年度)、前沢自治振興会役員(平成23、24年度)

前沢夏祭り実行委員(平成23年度～現在)

前田 哲 幸

## 小学校時代の思い出

私の小学生時代は昭和40年に入学し卒業までの6年間旧校舎(現在の給食センター)が学舎でした。同級生は男14名、女13名の合計27名(布施山分校含む)でした。児童時代の思い出は、課外授業で自然とのふれあいの場が多かったと思います。入学した当初は新しい講堂ができた翌年なので、講堂の掃除を丁寧に行い床にキズを付けないように使用するよう言われたものです。運動会や遠足といった行事も今となっては数々の思い出として懐かしく思われます。また、黒部川河川敷でキャンプを行ったことなどの記憶がよみがえることがあります。6年間1クラスだったことが今となっては大切な同級生となったと思います(全員覚えている)。

## PTA会長時代

平成18年にPTA会長をさせて頂いたと



きは、教職員の皆様や保護者の皆様と連携を取り合い児童の健全育成に努めさせて頂きました。当時は本当にありがとうございました。また、前沢自治振興会の皆様には児童のために現在も継続している防犯パトロールをして頂きましたことを厚く御礼申し上げます。これからもできるだけ継続して頂けるようお願い申し上げます。

## 現在の思い

前沢小学校が142年間の歴史の幕を閉じることになりますが、この経緯に至っては大変苦勞された方々に厚く御礼申し上げます。今年度で学校が無くなるわけですが、過去の資料及び思い出の品物をできるだけ長く保存し閲覧して頂けるように熱望します。また、卒業生の皆様は各時代の思い出がこの地にあったことを誇りにもって頂きたいと思います。今後も前沢地区の児童のためにご協力のほどお願い申し上げます。

# 前沢小学校の思い出

昭和46年度卒業

朝倉 一 雄

私の小さい頃は、木の校舎で勉強していました。

昭和41年に入学した頃は、ドッジボールやソフトボールが盛んで遊んでいました。当時はまだ学校には十分なスポーツ用品が少なかったので、ソフトボールのバットが数本と、キャッチャーミット、ファーストグローブくらいしかなく、他の選手は素手で守備をしていました。当然、ソフトボールは大きく素手でとるのは痛いですが、それがとても楽しく、日が暮れるまで遊んでいました。

また、前沢小学校には当時プールがなく、三日市小学校や桜井中学校へ通って泳ぎの練習をしに行きました。泳ぎの苦手な私は、無我夢中で目をつむりながら泳いでいました。

小学校の低学年の先生には、いたずらや悪いことをすれば、教室の柱に縛られて遅くまで残されました。また、先ほどもプールのお話をしましたが、引率された高学年の担任の先生の下着が赤フンドシで泳いでおられたのが印象的で、特に目立っていました。

小学校では給食がとても楽しみで、今では珍しいクジラのフライ、脱脂粉乳という牛乳のようなものを「おいしい」と飲んでいました。嫌いなものはすり身のみそ汁で、骨が残っているところが大嫌いで、食べるまで給食室に残されたものでした。

昭和40年代は校舎も古かったですが、道も今のようにアスファルトではなく、砂利が敷いてあるだけの整備していない小さな道で、水たまりになるようなボコボコの道が多かったです。

今より食べ物や衣服、家が裕福ではありませんでしたが、少ないおこづかいで駄菓子屋で考えながら好きな物を選んで買いました。また遊びも、田んぼで遊んだり、かくれんぼをしたり、川で魚を手つかみしていました。今よりないものが多かったです。のびのびと過ごした少年時代だったと思います。古い小学校は残っていませんが、現在の小学校跡の給食センターにある大きな桜を見るたびに、当時のことを思い出し、いい時代に小学生をやっていたなと思います。

# 前沢小学校への思い

昭和46年度卒業

幅口清樹

私は、昭和46年度卒業生です。私の前沢小学校の思い出は、校門の横に二宮金次郎の銅像があり、歴史を感じる2階建ての木造校舎でした。

校舎に入ると、木枠の古い下駄箱があり、廊下の床や壁は板張りで、階段を上がれば、ギシギシと音を立て、階段手摺を利用して滑り台として遊び、昼頃には給食室からくじらの竜田揚げのにおいがしてくる。そんな思いが走馬燈のように思い出されます。

冬になれば、石炭ストーブで暖をとり、ストーブの上にはブリキの缶に水を入れて乗せ、最近見ることができない牛乳瓶を温め、熱くなりすぎて、給食時間内に飲めな

いこともありました。

そんな、当時の前沢小学校は解体され、残っていませんが、現在、小学校跡地に黒部市学校給食センターが建設された中で、大きな桜の木が思い出の木として残っています。この桜の木を見て懐かしく思うのは私だけではないと思います。

前沢小学校が現在の鉄筋コンクリートの建物になってからは、長男が6年間の学校生活を送り、長女が在学中で、無くなることはとても寂しいことですが、時代の流れとして受け止め、前沢小学校と三日市小学校が統合し、桜井小学校として、新たに発展していくことを期待します。

平成28年度4月より桜井小学校に通学される児童の皆さん、前沢小学校で得た知識、育まれた心を大切に新たな学校生活を送ってほしいと思います。そして、これまでと同じように、地域全体で前沢の子供たちを見守っていただきたいと思います。

最後に、私たちに楽しい学校生活を送らせてくれた前沢小学校、142年間ありがとうございます。

# ありがとう前沢小学校

昭和46年度卒業

中野得雄

142年続いた前沢小学校も、前沢地区の方々に惜しまれながら閉校を迎えることとなりました。私を含め、自分たちの通った小学校がなくなることは、とても切ないものです。

私が在籍していた昭和40年代は、今の鉄筋校舎ではなく木造の2階建てで、冬は隙間風が教室に吹き込み、休み時間になると石炭ストーブに集まり、みんなで暖をとっていたことを覚えております。

小学校時代を振り返ると、初めての授業や初めての団体生活に戸惑ったこともありましたが、先生方や地域の方々の愛情に包まれ、無事に過ごすことができました。

本年をもって、前沢小学校が閉校するのが残念でたまりませんが、142年の間それ

ぞれの年代で前沢小学校の思い出があると思います。ただの学び舎としてではなく、地区運動会の場としての地域コミュニティ交流の大切な場所でした。

これから子供たちは、桜井小学校に通い、学校生活を送ることになります。慣れ親しんだ環境から一変し大変かと思いますが、持ち前の明るく元気な前沢っ子なら大丈夫かと思えます。

前沢小学校最後の保護者として諸先輩方が築き上げてこられた前沢小学校の素晴らしい伝統を伝えることができるよう、努力いたします。

最後に、本記念誌編集にあられた数多くの方々に敬意と感謝を表しまして、記念誌発行に寄せる言葉といたします。



# 旧木造校舎の思い出

昭和48年度卒業

元PTA会長 栃林 宏和

私の通った昭和40年代は今の校舎ではなく、さらに以前の木造2階建ての校舎でした。刺激的なものがある時代でもなく、田舎時間がゆっくり流れていたように思います。振り返るともう結構な昔話となりますが、当時のことを少し紹介します。

木造校舎だったこともあってか、冬以外は裸足で過ごしていることが多かったです。校庭でも裸足のままで、足を洗って教室へ戻るのが普通でした。放課後や休み時間になんとなく集まりができて、上級生と下級生が混じって遊んでいたことを覚えています。校庭ではボール1個と木のバット1本でのソフトボールが楽しかったですね。用具もないので、守備は全員素手でしたけど。

冬は体育館でのドッジボールやキックベースボール、体育用具室のマットの上では当時テレビ中継で人気のあったプロレスの技の掛け合いなどなど。大きなケガをすることもなく、みんな、なんとなく手加減が分かっていたのかもしれない。

授業では、大谷川や黒部川河川敷などへ出かけた野外活動を覚えています。今思い返すと、先生方は姿勢がとても凛としておられて、時には厳しくもありましたが、一生懸命に接していただいたと思っています。低学年の夏休みには、担任の先生の自宅へ皆で遊びに伺ったこともありました。

高学年では忘れ物をして、家まで取りに行かされたこともありましたが、片道4キロメートル弱を登校・下校と合わせて2往

復歩くのはミニ遠足のような日でしたね。何度か歩いている途中で郵便配達の方が話しかけてきて、途中までバイクの後ろに乗せてくれた日もありました。(今だったらありえないですね。それがあってか、今でも郵便配達の方に玄関先で会うと「いつもありがとうございます」と自然とあいさつがでます(笑)。)

今はいろんな面で変化が早くて子供たちも大変かと思いますが、失敗してもクヨクヨ後悔せず、いつも前向きな気持ちで進んでほしいですね。悩むことや反省は、後の成長や次の成功につながることもあるのでいいかなと思いますけど。

私の子供も通い、保護者としてもお世話になりました。PTA活動も正直な気持ちとして、最初は義務感でやっていましたがだんだんと自分の意識も変わる中で、活動・行事に参加し、楽しかった思い出もたくさんできました。

子供時代そして、保護者としても成長させていただいた前沢小学校に感謝しています。ありがとうございました。

# ひかえめな桜

昭和49年度卒業

元青年団長・元体育会長 朝倉 行紀

小さい頃からの小学校は、小学生だけのものではなかったです。体育館では、公民館祭りに敬老会、村の球技大会が行われ、グラウンドでは盆踊りや区民運動会と、いつも前沢地区の中心となって私たちを温かく見守ってくれていました。校舎は床の雑巾がけをすると、ささくれ立った床板が手のひらに刺さり、そして、風で窓ガラスがガタガタ鳴るなど、老朽化はまぬがれず、現在の校舎に移転することとなりましたが、今もその存在は変わっていません。

旧校舎の中庭にあったあの一本の桜、陽当たりが悪く、人目につかず、でもすべての教室から見ることができました。その桜が今ではあんなに大きく堂々と立っています。あのひかえめな桜が…。

みんなが見ていた桜は、これからも住民と共に、子どもたちの羽ばたきを永遠に見守り続けるでしょう。

真っ黒な石炭運びのバケツは、1年生の私にはすごく大きく重いもので、2人で持っても大変でした。でも、3時限目が終わると走って…ではなく早歩きで、職員室を横目に自炊室の前で、ガッツポーズ「今日はカレーシチューだ！」中では近所のおばちゃんが笑っていました。勉強も大好きですが、給食はもっと好きでした。唯一苦手だったのが、ストーブで牛乳びんを温めたやつで、飲み口付近に膜をはった物体が好きにはなれず。みんながおいしそうに飲んでいるのをみて否定はできず、我慢をして飲んでいました。たまにお湯が熱くなりすぎて、びんを入れると割れるときがあり、それが少し嬉しかったことが、思い出されます。

同じように好きだったのが、運動場です。隅にあった小さな池には、なぜか甲羅に穴を空けられ、ワイヤーでつながれたカメラがいました。そいつのご機嫌をうかがいながら、飛んだり、走ったり、笑ったり、泣いたり。竹のバットも振り回していたけれど、一番の思い出は、学年問わず夢中になった「ひまわり」知る人ぞ知る名ゲームです。詳しく知りたい方は、郵便ポストの前の家まで…。



# 前沢小学校の思い出

昭和50年度卒業

中西 義浩

私が通っていた時の学校は、現在学校給食センターがある場所にありました。瓦屋根の、木造2階建ての校舎で、渡り廊下で体育館、音楽室へとつながっていました。グラウンドは一周100メートルしかとれない、今から思えば、とても狭いものでした。

私の同級生は17人（男子12人・女子5人）で、全校で110人～120人くらいだったと思います。低学年での記憶はあまりありませんが、中高学年の時の思い出は、校舎と共に一部鮮明に残っています。学校の行事としては春の遠足、秋の遠足など、今とあまり変わらないと思います。特に冬の思い出が力強く残っています。当時は、石炭ストーブで暖をとっていました。ストーブ当番になった日の朝は、皆より早く登校し、外に置いてある石炭をバケツに入れ、教室に運んで、火をつけます。3時間目が終わると大きな“たらい”みたいな鍋をストーブの上に置き、給食の時に飲む牛乳（ビン

入り）を温めていたものでした。たまに、ビンの底が割れて飲めない友達もいました。また、とても寒い日には、ストーブの周りに机を並べて、授業を受けたこともあります。

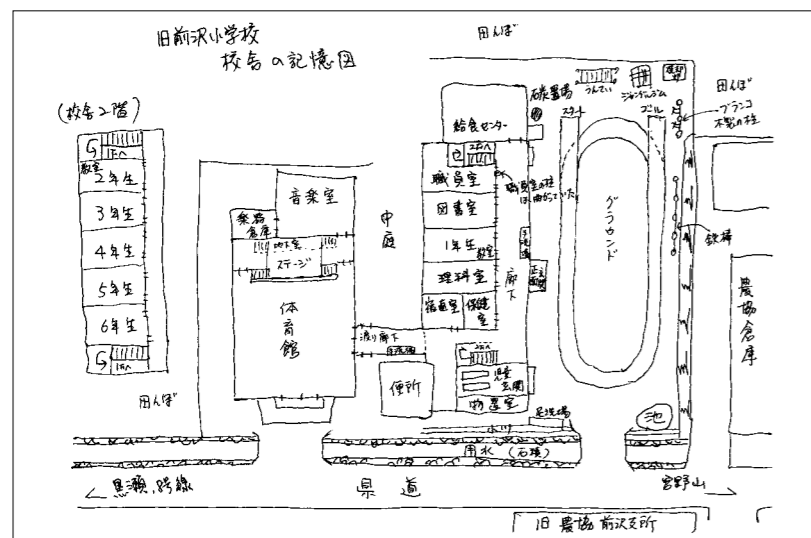
校舎の窓は、木枠にガラスをはめ込んだ格子窓で、建付が悪く隙間があり、吹雪の翌朝は教室の窓際や廊下に薄らと雪が積もっていることもありました。

当時、学校にはプールがなく、夏の水泳学習の時には、旧三日市小学校のプールを借りて行っていました。三日市小学校まで歩いて行き、体育館の隅で着替えをして、プールで練習しました。そのとき、三日市小学校の子に田舎者呼ばわりされたことがいやな思い出の一つです。

あと、給食のことで低学年の頃だと思えますが、クジラの肉の唐揚げがよく出ていました。全部食べきれず、残した記憶があります。今では、希少で某居酒屋のメニューにあり、当時を懐かしんで食べています。

現在の鉄筋校舎とは違い、暑さ寒さに影響を受けやすい校舎ではありましたが、その分思い出として色濃く残っています。

今、通学している子どもたち、また、これから新しい学校に入学する子どもたちであれ、一生懸命友達と遊び、たまには勉強することが、やがて自分の「思い出」という財産になるものと思います。



# 前沢小学校のご縁

昭和52年度卒業

村井 一志

て外に滑り降りる避難訓練をしていました。ジェットコースターみたいで、スリル満点でした。

約40年の時が過ぎ、長女が7年前に卒業し、息子は今4年生で在校生として勉学に励んでいます。平成20年度には、皆様のご協力のお陰で、PTA会長として、1年間ですが楽しませて頂きました。この場をかりて、ありがとうございました。

前沢に生をうけた『ご縁』により、私の子供までお世話になった学校が閉校してしまうことは、寂しいですが、これも時代の流れでしょうがないです。息子が40年後ほぼ、私の年齢になります。私は、この世には居ないとは思いますが、前沢小学校の歴史や諸先輩の功績を忘れず、心の目に焼き付けて下さい。そして、この前沢小学校の『ご縁』に感謝いたします。

昭和48年4月、木造校舎の前沢小学校（今は給食センターの場所）に入学。木造校舎では、5年間在学、一生懸命に勉強に運動に、そして自然の中で遊び、田んぼで遊び、小川（用水）で遊び…勉強よりも、同級生や上級生と楽しく仲良く、小学校の生活を学びました。壁・床・天井はもちろん木造の板張りでこげ茶色でうす暗く、教室や廊下の掃除のときは、みんなで一列に並び雑巾かけ競走していました。時には、床板のささくれが手に刺さり、保健室に直行でした。夏は、窓を全開に開け自然の風で心地よく勉強していました。冬になると、木製の窓の隙間から雪が教室に吹き込んでいたことを思い出します。また、勇気ある上級生は、先生目を盗んで2階の窓から2メートルほど積もった新雪にダイブ!! スッゲー!!って憧れでした。便所は、ここだけの話、水洗ではなく、ボットン便所、夏にはうじ虫が湧いてきて、薬で駆除していました。今では、考えられない環境の中で、でも当時では当たり前の中で勉強していました。

『ご縁』があり6年生の時に今の校舎に移り、1年間だけ新しい校舎で勉強しました。旧校舎のうす暗い環境から、一転、壁、床、天井は眩しく感じるくらいに真っ白で、明るかったです。窓は、アルミ製で雪は吹き込んできませんでした。“安心して下さい!” 便所は水洗でした。

そして、避難訓練は、今では使用していないようですが、3階からシュートを使っ





## 前沢小学校への感謝の気持ち

昭和59年度卒業

前沢タイガース監督 大海寺 毅

私が在籍していたのは31年前、現在の校舎が出来て初めての1年生だったと記憶しています。

当時は、体育館やプールもなく、音楽室での入学式でしたが、小さな保育所から来た私にとっては、鉄筋コンクリートの建物、長い廊下、大きなグラウンドと何をとっても驚きの連続でした。

私が住んでいる地域からは学校が遠く、スクールバスで通っていましたが、現在と違って当時は地域のお年寄りや、保育所の子供たちも乗車しており、バスの中には常に笑い声があり、毎日が遠足のような感じでした。

児童数は、一クラス30人ほどで、黒部市の中でも児童数の少ない学校でしたが、子供たちの声が常に飛び交う、笑いあり、涙ありという楽しい学校でした。

学校生活では、現在校舎の北側にある学校農園ですが、当時はグラウンドの海側にあり、自分たちで植物や農作物を育て、種まきから草取り、刈り取りなどを行い、常



に「自分たちでやってみる」ということ、冬期期間にはグラウンドや田んぼでのノルディックスキーなどスポーツを通して「どんなことにもチャレンジしてみる」ということを学んだような気がします。

最近5年間ほど、現在の在籍児童とスポーツを通して触れ合う機会があり、小さな小学校ですが、どんなことにも諦めず取り組む姿勢は、伝統として伝えられていると感じ、感心しました。

自然豊かな地域の中にある学校、地域の住民の方と共に学べる学校が大好きでした。

このたび、長い歴史に幕を閉じることになった前沢小学校ですが、人生の基本となることを教えてくださった多くの先生方、私自身大きく育ててもらった学校にとっても感謝しています。

また、在学中の児童にとってはこれから不安なことばかりだとは思いますが、胸を張って、桜井小学校でもいろいろなことにチャレンジしてもらいたいです。

## 楽しかった前沢小学校での思い出

昭和60年度卒業

平成25年度PTA会長 若宮 卓

私が前沢小学校に入学したのは、今から約35年前のことです。その当時、全校児童は170人くらいいました。

私たちが小学校に入学した当時には、体育館とプールが完成しておらず、私たちの入学式は音楽室で行われました。その翌年に体育館が完成して、みんなで楽しく遊んだことを思い出します。

私が小学校に在籍していた時の楽しい思い出は、秋の遠足で近いところでは宮野山、遠いところでは地鉄の宇奈月温泉駅から紅葉を見ながら林道を歩いて平和の像まで行ったことです。また、冬になると教室のストーブで給食のパンや、お釈迦の団子を焼いてみんなで食べたことを覚えています。体育の授業では小学校の近くの田んぼ

の斜面でスキーをし、グラウンドでは、ノルディックスキーをしていました。

このような自然に囲まれた前沢小学校で、過ごされた児童の皆さんは、三日市小学校との統合に対して楽しみや不安がたくさんあると思いますが、前沢小学校で経験したことを活かして頑張っていたいただきたいと思います。

最後に、前沢小学校がなくなるのはとても寂しいことですが、統合に向けて前沢小学校142年の歴史を忘れることなく、校歌の「栄えあれ」のフレーズにもあるように、桜井小学校においてもさらなる発展を期待します。

前沢小学校、本当にありがとう。



# 大切にしたい私のふる里

平成7年度卒業

中谷美穂

私が前沢小学校にいたのが、だいたい20年前になります。この記念誌の依頼を受け、「小学校の頃の思い出、どんなことがあったかな。」と考えてみました。

写生会で様々な場所へ行き、カンナや三島神社などを描いて金賞をよく貰っていたこと。学校の前の畑で自分たちの好きな野菜を植え、収穫のあと調理をして食べたこと。図工の時間にパチンコゲーム作りや版画をし、彫刻刀やのこぎり、金槌を使えるようになったこと。

何気ない日常生活が楽しかった思い出として頭に浮かんできました。もちろん、当時はいやだったこともあったと思いますが、今となれば、子どもの頃のよい思い出に変わってきました。

そして、何よりも「前沢小学校でよかったな。」と思うことがあります。それは今でも相談ができたり、気をつかわずに会える友達がいることです。保育所からの付き合いを含めると、もう30年近くになります。途中、別々の道に進みましたが、こう



して大人になった今でも仲良くいられる友達ができただけでなく、私にとってかけがえのない宝物です。また、現在もこの前沢地区に住んでいることで、同級生が結婚をし、同じ地元に住んでいて、たまに会うと気軽に声を掛け合えることも、心が和み素敵なことだと思います。小さい地域だからこそ人の繋がりが深いというのが、この前沢のよいところなのかなと改めて感じました。

小学校の閉校にあたって、今年度の前沢地区の夏祭りは小学校で行われました。校舎開放ということで、展示されている写真を家族で見に行きました。私と姉の卒業写真がありました。父と母のもありました。祖父と祖母のもありました。

今、私のお腹の中には赤ちゃんがいます。その写真を見たとき、「この子も、前沢小学校に通わせたかったな…」と正直思い、なんだか寂しい気持ちになりました。今まで当たり前にあったものが無くなるのは寂しいことですが、新しいスタートに期待をしたいと思います。

これからも人の繋がりが、人の輪が途絶えない前沢であってほしいと思います。

# 閉校にあたり気付いた前沢への想い

平成13年度卒業

土井文絵

前沢小学校の閉校にあたり、小学校生活を思い返してみると、日々「学んだ」というよりも、日々「経験した」6年間だったように感じます。その経験は、前沢小学校の学習環境、前沢の人柄、土地柄があっただけでなく、そのものだったと思います。

当時は、比較的人数が少ない学級でした。だからこそ、何か問題が起きればなんとかしようと解決策を考えたり、行事に対してもどうしたらよりよくなるのか、より楽しくなるのかを話し合ったり、時間をかけてそれぞれが真剣に考え、みんなで乗り越えることができていました。そういったことを通して、全員が1人1人のよい所も悪い所も理解し合えたからこそ、6年間を通して深い人間関係が持てたように感じます。今では同級生に会う機会も頻繁にはないですが、久々に会っても、どんなことも話せるのは、お互いの人間性を理解し合っている安心感があるからだと思います。

私の6年間の思い出の中で印象深く残っているものは、学校内よりは外でのものが多いです。グループに分かれ、自転車に乗って前沢地区を探検したことや、休み時間に前庭で遊んだこと、週に1回の全校リレー、畑での野菜の栽培など、身体を動かしたり、人と関わったりした経験が強く心に残っています。前沢地区の方々はいつも子どもたちのことを温かく見守り応援して下さいました。時には、わが子のように怒って下さった方もおられました。そして、前沢地区には宮野山をはじめとして、

子どもたちが自然と触れ合いながらのびのびと遊べる場所に恵まれていると思います。こうした前沢地区の温かい人柄と自然豊かな土地柄で育ったからこそ、私は小学生の頃から身体を動かすことが好きになり、まわりの人への感謝の気持ちを大切にしていって今日までこれたのだと感じています。

私は現在も前沢に住んでいます。日々の生活の中で、私が小学生の頃感じた前沢地区の人柄、土地柄のよさは今も変わらずにあると感じています。前沢小学校が閉校することはとても寂しいことですが、子どもたちが生活する場所はこれからも変わることなく前沢です。なので、新しい学校での生活が始まっても、前沢のよさを日々の生活の中で感じながら、成長していてもいいと思います。子どもの頃は気付かないかもしれませんが、大人になった時に少しでも前沢を大切に思う気持ちを持ってもらえば、それがより素敵な人柄、土地柄に繋がっていくと信じています。私自身も、今回改めて考え、感じさせてもらった前沢のよさと前沢小学校での6年間を大切に想い続けていきたいと思っています。



# 目指す姿に向かって

平成27年度卒業

朝倉 ヒマリ

前沢小学校が閉校すると知ったとき、毎日通った学校がなくなってしまうのかと、とてもさびしく、悲しく思いました。

6年生に進級した日の始業式、校長先生が「前沢小学校閉校の日に、73個の星が結び付いて星座となり夜空で一番輝いてほしい」と言われました。私は、前沢小学校最後の1年間だからこそ、その目標に向かってどのように学校生活を送ればよいか、自分には何ができるかを考えました。学級目標や個人目標を考えているうちに、私にできることは、自分から積極的に学校に関する活動に取り組むことだと思えるようになりました。そして、卒業するときまでに、いろいろなアイデアを出す力、みんなをまとめる力、感謝する心をもった人になることを目指そうと決め、二つのことに取り組みました。

一つ目は、プロジェクト委員会に入り、学校がよりよくなることを考えて活動することです。私は委員長として「前沢小学校のあいさつを、どの学校にも負けない気持ちのよいものにしよう」と思いました。こ

れまで、前沢小学校の子供は、地域のみなさんから「あいさつが上手だね」と言われてきました。私は、とてもうれしく、学校の自慢として誇らしく思っていました。だから、あいさつが上手という伝統を、最後の1年間も確実に受けつぎたいと思いました。

今、学校内には、気持ちのよいあいさつが響いています。あいさつ運動を続けることで、少しずつ目指す姿に近づけたと感じています。

二つ目に私が目指した姿は、大運動会の応援団長として「みんなをまとめる力をつける」「最後の運動会として、みんなの思い出に残る最高のものにする」です。そのために、私は「進んで行動してみんなの手本になること」と「テーマである『ありがとう前沢小学校』」を意識することにしました。

夏休みの終わりから、応援リーダーの練習を始めました。しかし、なかなか思うように練習が進みません。焦りばかりが先立ち、前沢小学校への感謝の思いについては、考える余裕もなくなっていました。いよいよ9月。運動会まで2週間です。私の思いとは裏はらに、メンバーが応援のせりふを忘れてしまったり、動きがばらばらであったり、まとまりがありません。「これではいけない。どうにかしなければ…」。

そんなとき、「前沢小学校へ感謝のエールを送る」ことを思い出しました。「前沢小学校への感謝を意識しよう。意識しなけ

れば私が目指している姿にはなれない」。すると自然に、みんなの気持ちも考えられるようになり、リーダーには「応援団に入ったときに、一人一人決意を言ったよね。今もう一回ちゃんと振り返ってみよう」と伝えました。

その後、リーダーの意識が高まり、練習を重ねるうちに、まとまりもでてきました。

運動会当日、プログラム2番「エール」。校舎に向かって「前沢小学校へのエール」を送っているとき、なんだかとても感動しました。「ありがとう」と校舎に向かって声を発すると「閉校するんだ」と改めて感じ、「百四十二年の歴史と伝統に感謝」という垂れ幕を見ると、少しさびしさもわき起こりましたが「感謝」という文字が私を奮い立たせてくれました。

プログラム〇番「応援合戦」。いよいよ練習の成果を発揮するときです。緊張が高まり、頭が真っ白になりそうです。しかし、「私が緊張すると、白組のみんなも緊張して声が出なくなる。私がしっかりしなくちゃ」と思い、白組のみんなには、「が

んばって」と声をかけました。

応援をしているときは、地域のみなさんや先生方の視線を感じ、見守ってくださっているんだなとうれしくなりました。最後の決めポーズをしたとき、とても大きな拍手がわき起こりました。「最後までやりきってよかった。目指していた自分の姿に近づけた」「みんなの思い出に残る最高の運動会にすることができた」と感じました。

プロジェクト委員長と応援団長の経験を通して、みんなをまとめていく力、自分から進んで行動する力がついてきたと思います。また、「前沢小学校閉校の日に、星座が輝く」という目標に向けて、もっともっと明るく楽しい前沢小学校にしたいという気持ちも強くなっています。閉校まで5か月。前沢小学校のみんなが一致団結して、すばらしい学校をつくっていきたいです。そして、私自身は、これからも「目指す姿」を追い求めて、いろいろなことに挑戦していこうと思います。

(平成27年11月 実践意見発表会での発表原稿)



絆

感謝

夢

希望



夕 日

## 閉校式

寂しさはわき起こるけれど  
新たな一步を踏み出す喜びの日  
前沢地区のみなさんの絆の深さと学舎に  
感謝の気持ちでいっぱいです  
弘麗と智徳の精神を心に抱き  
夢と希望の実現に向けて 歩み出そう…

☆閉校式・記念碑除幕式

☆PTA広報「年輪」最終号

☆前沢小学校閉校記念事業実行委員会組織

閉校式 — 3月5日 10時開式 —

ありがとう前沢小学校  
さようなら前沢小学校



142年間ありがとうございました

♪「立山の…」子供たちの歌声が皆様の心に留まるように心をつつにして歌いました



一文一文に思いを込めて… 弘麗と智徳の精神で歩みます



記念碑除幕式 — 3月5日 11時開式 —



記念碑・朝倉豊次氏胸像リニューアル・音声ガイドの除幕。ときどき立ち寄ってください



除幕 大きな拍手がわき起こりました



「ありがとうございました」



多くの方に見守られ…



前沢小学校は永遠に不滅です。万歳・万歳・万歳



# 閉校記念行事のしおり

平成28年3月5日(土)

—平成28年3月31日 閉校—



閉校式 10:00~10:40 体育館  
 記念碑除幕式 11:00~11:40 前庭  
 感謝の集い 13:00~15:30 パレス扇寿

黒部市立前沢小学校

【前沢小学校の精神】

弘麗・智徳



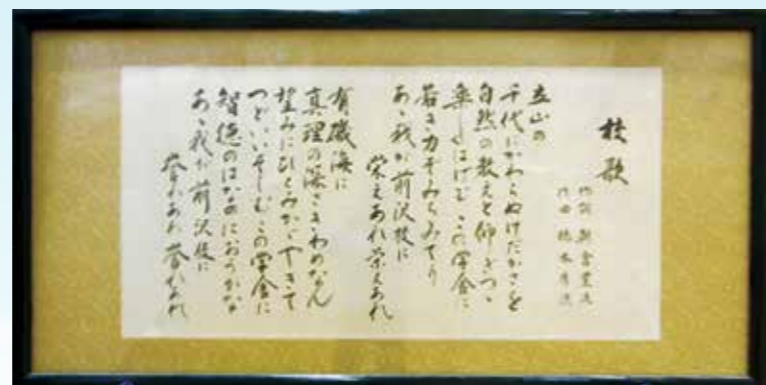
【弘麗の意味】

心や徳が広く、そして清らかで  
 健やかな子供に育てほしい



【建立時の願い】

朝倉豊次先生の立派な業績と  
 人柄を後世に伝えて、  
 あとに続く人材が育ってゆくことを  
 願います。



## 閉校式

- 時刻 10時から10時40分
- 会場 体育館
- 次第(進行:学校)
  - 開式の辞
  - 校旗入場
  - 国歌斉唱
  - 式辞 黒部市長 堀内康男 様
  - 挨拶 閉校記念事業実行委員長・校長
  - 祝電披露
  - 感謝の言葉 児童代表
  - 校歌合唱
  - 閉校の告示 黒部市教育委員会
  - 校旗返還 校長から市長へ
  - 閉式の辞

主催 黒部市・黒部市教育委員会

## 記念碑除幕式

- 時刻 11時から11時40分
- 会場 前庭
- 次第(進行:前沢自治振興会)
  - 開式の辞 閉校記念事業副実行委員長
  - 除幕
  - 挨拶 閉校記念事業実行委員長
  - 感謝状授与 朝倉豊次氏胸像建立者代表 中西清一 様
  - 謝辞 閉校記念事業実行委員長
  - 音声ガイド披露 代表 朝倉豊次氏ご令嬢 荻原 道 様
  - 閉式の辞 閉校記念事業実行委員会顧問 前沢自治振興会前会長

主催 前沢小学校閉校記念事業実行委員会

## 黒部市立前沢小学校 —平成28年3月31日 閉校—

前沢小学校閉校記念事業実行委員会  
 H28.3.5設置

### 校章の由来

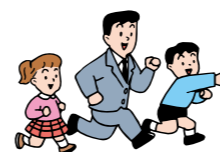
昭和15年2月11日、桜井町の誕生に伴い制定



水の中から知徳の花びらが匂い出する  
 様子をイメージしてデザイン化

- 桜井町にちなんだ大和桜の紋所
- 竜の口用水の石管のシンボル化
  - 前沢地区を通る十二貫野用水の中から、当時としては画期的なサイフォンの原理を利用した竜の口用水の石管を井桁にシンボル化したものと考えられている。
- 隷書体の文字
  - 校章の基部には前沢の「前」を隷書体で、ゆるやかに示してあり、直線と曲線とがほどよく調和するようにデザインされている。

ここに遊びに来て、学校の  
 ことを思い出してね。  
 前沢地区の自慢の場所だよ。



### 校歌

朝倉豊次 作詞  
 橋本秀次 作曲

一立山の  
 千代にかわらぬ けだかきを  
 自然の教えと 仰ぎつつ  
 楽しくはげむ この学舎に  
 若き力ぞ みちみたり  
 ああ 我が前沢校に  
 栄えあれ 栄えあれ

作詞 朝倉豊次氏  
 ・前沢地区に居住  
 ・戦艦武蔵艦長  
 ・黒部市初代教育長



1 校歌 (歌入り) ×20 ハンドルを20回まわす 2 ボタンを押す 3 音声ガイド

①校歌 (オーケストラ) ②校歌について ③子どもたちからのメッセージ ④地区の紹介

最終号・閉校記念特集号

# 年輪

No. 114

発行 黒部市立前沢小学校PTA  
発行日 平成28年3月16日



音声ガイド校歌合唱収録



記念碑 校章も化粧直し



朝倉豊次氏胸像リニューアル

閉校にあたって  
PTA会長 廣濱良幸

前沢小学校は平成二十七年に、明治六年から百四十二年に渡る輝かしい歴史に幕を下ろし、ここに閉校することになりました。

前沢における学校教育は常に地域、保護者、教職員が一丸となり伝統を築き上げて参りました。いま改めてその歴史と学校がもっていた中心的な役割を実感しております。

連なる山々、水清く、豊かな自然、人情も細やかな地域に住む前沢の子供たちは「豊かな感性」と「人を思いやる心」を育んでおります。「人は環境によって育てられる」と言われるとおりです。

美しい自然と家庭や地域の皆様が子供たちの健やかな成長を見守り、願って頂いている熱い心が子供たちに伝わり、人として豊かな心を培ってきたものと考えます。

本校が閉校になっても、地域の方々や卒業生の心の中に「前沢小学校校歌」は前沢に永遠に息づき、その良さと歴史は語り継がれていくものと確信しております。

弘麗と智徳の精神を  
いつまでも

校長 籠浦智彦

子供たちは「有終の美を飾る」のふさわしく一年間活動しました。授業中のしゅんとした中に鉛筆のカツカツという音だけが響く書く学習活動、話を聞く態度、前沢スター花壇での栽培活動、校歌の二部合唱、全員が登頂した立山登山、サブライズのある運動会…子供たちは主体性と創造性を発揮しながら「目指す自分の姿」の現に向けて努力していました。まさに、「弘麗と智徳の精神」にあふれ、一つ一つの星が光輝き七十三個の星が結び付きました。この育ちがあれば大丈夫。「桜井小学校・桜井中学校で、臆することなく自分を出し、たくましく歩んでくれる」と確信しております。

前沢小学校を表す「弘麗と智徳」この精神を受け継いだ七十三名の子供たちは、  
☆大きくはばたくことができ、  
何事も乗り越えることができる。

保護者のみなさま・地区のみなさま、ありがとうございます。



雄山山頂に校歌を書いたメモリアルストーンを置いてきたよ。



## お礼

前沢小学校閉校記念事業実行委員長 舟子 忠明

本日は、ご出席を賜り誠にありがとうございました。  
142年の歴史に幕を閉じる日が近づいてきました。「地区の宝である子供たちのために」「形はなくなっても、地区のみなさまの心に残る前沢小学校にするために」一つ一つの記念事業を計画し、実行してきました。  
本日は、閉校式・除幕式を無事に迎えることができました。これもひとえに、黒部市長、黒部市教育委員会のみなさまをはじめ、地域のみなさまのお力添えがあったからだと思っています。ありがとうございました。  
子供たちは、前沢小学校で学んだことを心の糧として、大きくはばたいてくれるものと確信しております。今後も、地域が一丸となって、子供たちを温かく見守り育てていきましょう。本日はご参加ありがとうございました。

## お礼

校長 籠浦 智彦

本日は、ご出席を賜り誠にありがとうございました。  
4月の始業式・入学式の式辞として「3月には、夜空で一番光輝く前沢小学校の星座が見られるように、元気いっぱい 思いやりいっぱい しあわせいっぱいの前沢小学校をみんなで作ってあげていきましょう。弘麗と智徳の精神で…」と話をしたことが、実現されました。  
本日、「桜井小学校への希望に満ちあふれ、時を超えて光輝く子供たち」が目の前にいます。73個の星が結び付いて光輝いています。しかし、一人一人の顔がかすんで見えます。眩しすぎるからでしょうか。それとも…。  
平成26・27年度の子供たちは、「142年の歴史と伝統に感謝」を合言葉に、有終の美を飾ろうと勉強・運動・活動の1つ1つに精一杯取り組み、成果を上げてくれました。  
地区の皆様をはじめ、関係各位のお力添えがあったからこそ、成し遂げたことです。心より御礼申し上げます。  
子供たちのこの輝きがいつまでも続くよう、今後もご指導・ご鞭撻をお願いします。



## 感謝の集い

- 1 時刻 13時から15時30分
  - 2 会場 パレス扇寿
  - 3 次第（進行：学校）
    - ・開式の挨拶 閉校記念事業実行委員長
    - ・来賓の挨拶 黒部市長 堀内康男 様  
県議会議員 横山 栄 様  
大野久芳 様
    - ・乾 杯 黒部市教育委員会教育長 能澤雄二 様
    - ・歓 談
- スライド・インタビュー・謝辞・校歌合唱
- ・万 歳 黒部市議会議長 木島信秋 様
  - ・閉会の挨拶 前沢公民館長

主催 前沢小学校閉校記念事業実行委員会

## 感謝の言葉

多くの先輩が巣立ち、歴史を重ねてきた前沢小学校地域に支えられ、地域とともに歩んできた前沢小学校共に学び、共に遊び、数々の思い出が残る前沢小学校そして私たちがいつも温かく見守ってくれた前沢小学校

この前沢小学校のことを、私たちは忘れません

私たちは、弘麗と智徳の精神を胸に刻み新しい一歩を力強く踏み出します。時をこえて光輝きます。

ありがとう前沢小学校  
さようなら前沢小学校

平成28年3月5日 児童代表

# 煌

学年だよりのタイトル「煌」に込めた願いが実現しました。いつまでも、いつまでも自分らしさを発揮して煌めいてください

6年生2月

## 絆を深めて協力した1年間！ ～ 友達と声を



### 舟子結菜

- ①自分の部屋
- ②お花屋さん
- ③家族
- ④YKKで働くこと
- ⑤立山の頂上へ立つこと

### 長谷悠莉

- ①家族
- ②料理が上手な人
- ③家族
- ④獣医
- ⑤立山登山に行き、星を観たこと

### 宮井 楓

- ①家族
- ②カメラマン
- ③家族
- ④獣医
- ⑤立山の頂上に着いたこと

### 此川 葵

- ①ねこのぬいぐるみ
- ②学校の先生
- ③マンガ
- ④ホテルコンシェルジュ
- ⑤市音楽会で発表したこと

### 中岡悠貴

- ①ポケモンのゲーム
- ②サッカー選手
- ③ゲーム機
- ④飛行機のパイロット
- ⑤運動会で鼓笛隊をやったこと

### 林 瞳

- ①ポケモンのおもちゃ
- ②マクドナルドの店員
- ③友達
- ④ゲームクリエイター
- ⑤立山でフイチヨウを見たこと

### 川田 雅

- ①リラックマのぬいぐるみ
- ②美容師
- ③本
- ④農業関係の仕事
- ⑤立山登山で登頂したこと

そんなみなさんの姿を見るたびに、十四名全員が、一回りも二回りも成長していることを実感し、うれしく思っていました。

四月からは、中学校という新たなステージが待っています。うまくいくことばかりではないでしょう。壁にぶつかることもあるでしょう。今まで積み重ねてきた「自分」を信じて、しっかり壁に向き合えば、どんなに高さがあっても乗り越えられます。みなさんなら大丈夫。ずっと応援しています。

保護者のみなさまには、行事をはじめ、様々な活動にご協力いただきました。また、ご家庭で子どもたちを温かく見守ってくださっていることを、子どもたちと接する中で感じていました。六年間、本当にありがとうございました。これからも、お子さんの心の支えとなつて励ましてあげてください。

1年生のときの宝物&将来のどう気持ちの変化がおきてい

心もからだも、こんなに大きくたくましく成長しました。家族に、先生に、そして地域のみなさまに温かく見守られたおかげです。中学校では文武両道の精神でがんばります！

## Thank you...

時を超えて光輝け！  
1人になれる1つになれる  
うちこめ ねばれ 欲を出せ

## かけあって最後までやり遂げたよ ～

2年生4月



氏名(自筆)  
一年生のときの  
①宝物  
②将来の夢  
現在の宝物  
③宝物  
④将来の夢  
⑤一番の思い出

### 西本愛衣

- ①ママとぬいぐるみ
- ②ゲーキ屋さん
- ③家族
- ④五コマ漫画家
- ⑤大運動会で自分のチームが勝ったこと

### 山本栢季

- ①プロ野球のカード
- ②野球選手
- ③家族
- ④野球選手
- ⑤連合体育大会の中距離走で一位をとったこと

### 朝倉ヒマリ

- ①家族
- ②看護師
- ③彩風翔様のクリアポスターと写真、家族
- ④タカラジエヌ
- ⑤実践発表会での発表、応援団長

### 松井暦大

- ①命と家族
- ②フィッシングライター
- ③釣りの道具
- ④水族館の飼育員
- ⑤白川郷で班別行動をしたこと

### 広津圭翔

- ①家族
- ②野球選手
- ③家族
- ④野球選手
- ⑤立山登山で登頂したこと

### 番匠由芽

- ①ピーズアクセサリ
- ②ゲーキ屋さん
- ③本
- ④周りの人を笑顔にできる人
- ⑤市音楽会で演奏したこと

### 中野 颯輝

- ①妹のきりり
- ②野球選手
- ③唯一の弟と父
- ④プロ野球選手
- ⑤立山でフイチヨウを見たこと

六年担任 中坪尚世

夢と、6年生になった今、  
るのか比べてみました。



### 笑顔あふれる1年生



一年担任 坂井 静子

一年教室はいつも笑い声と笑顔があふれていました。毎日キラキラと輝く瞳に囲まれ、幸せいっぱいの毎日でした。  
桜井小学校でも感謝する気持ちを忘れず、新たなステージで活躍することを心より応援しています。

氏名  
①一年生の思い出  
②桜井小学校に行ったら...

岡本のつぎ  
①大運動会でみんなと力を合わせた  
②二重とび

- 金物あんな  
①初めて登校したドキドキしたあの日  
②算数の計算
- 金塚すず  
①みんなとファミリーパークで動物をみた遠足  
②漢字
- 稲葉まほ  
①みんなでバスにのってファミリーパークに行った遠足  
②水泳
- 猿田いぶき  
①遠足でみんなと食べたいこと  
②勉強
- 朝野みつき  
①遠足でホタルイカをさわったこと  
②なわとび
- 川田さやか  
①大運動会の鼓笛隊のおどり  
②二重とび
- 河村ゆき  
①一年生との朝活動(ドッジボールなど)  
②交差とび
- 村井あおと  
①二年生としたポップコーンパーティー  
②サイドクロス
- 前本にこ  
①遠足で友達と一緒に動物を見たこと  
②交差とび
- 中野きりり  
①夏休みにプールにたくさん通ったこと  
②ていねいに漢字を書く
- 城あきこ  
①遠足でホタルイカにさわったこと  
②テストで白点をとる
- 猿田いぶき  
①遠足でみんなと食べたいこと  
②二重とび
- 齋藤れな  
①全校でがんばった長なわとび  
②友達をたくさん作って遊ぶこと
- 込尾しおん  
①プールで泳げるようになったこと  
②進んであそぶこと

### ぐんぐんのびる2年生



一年担任 寺井 信子

いっぱい笑い、いっぱい元気をもらった二年間でした。素直で優しいみなさんを、いつまでもいつまでも応援しています。

氏名  
①二年生の思い出  
②桜井小学校に行ったら...

市井 夏美  
①一位になった校内なわとび大会  
②いっぱい発表したい

- 榎田 朱凜  
①「おしゃべりなかいじゅう」の絵  
②算数をがんばりたい
- 中平 愛良  
①カラフルに作った工作  
②わり算をがんばりたい
- 城寺 美緒  
①みんなで遊んだ春の遠足  
②体育をがんばりたい
- 澤井 煌明  
①紙粘土で作った工作  
②勉強をがんばりたい
- 伊藤想乃香  
①工作・絵色ぬりが楽しかった  
②みんなと仲よくしたい
- 山本 結月  
①国語で詩を作ったこと  
②なわとびをがんばりたい
- 朝倉 貴太  
①みんなで仲良く遊んだこと  
②国語をがんばりたい

### 元気いっぱい3年生



三年担任 湊屋 稔

①3年生の思い出  
②桜井小でがんばりたいこと

元気いっぱいの3年生と過ごした一年間。グループでの新聞作りやみんなで熱中して取り組んだ劇の練習など、さまざまな活動を通して成長し、一つひとつまatteringたみなさんの姿を忘れません。新しい学校でも元気にやる気を大切にして、がんばってほしい。

- 朝倉 拓士  
①遠足で行ったたいこう山ランド  
②みんなと仲よく遊ぶ
- 城 侑希  
①楽しかった遠足  
②桜井小の友達と、いっしょに元気に遊ぶ
- 城寺 大和  
①大きなたてを作った雪合戦  
②友達をたくさん作る
- 河村 乙希  
①金賞をとった書き初め  
②友達をいっぱい作る
- 中田 亮牙  
①たくさん遊んだ遠足  
②友達をたくさん作る
- 鳥居 史華  
①新記録と一位をとった持久走記録会  
②たくさん友達を作って友達の輪を広げる
- 杉本 響深  
①苦しみながらした漢字プリント  
②体育をがんばる
- 中島 栞  
①みんなで楽しく遊んだ遠足  
②計算と漢字をがんばる
- 杉林 瞳  
①お楽しみ会でのおにごっこ  
②友達をいっぱい作る
- 穂島 稀太  
①ドッジボールをした交流活動  
②友達をたくさん作る
- 村井 響  
①遠足のときいろいろな物を見た科学博物館  
②国語やいろいろな勉強をがんばる
- 湯野 遥  
①初めてサイドクロスができたなわとび  
②なわとびでいろいろなとび方をやる

カンナ級担任 大角 伸児  
前沢小学校での思い出は宝物です。運動会、生活科の勉強、自分たちの力を信じて桜井小学校へ行ってがんばりましょう。

富山 大駕  
①リレーで一位になった運動会  
②勉強をがんばる

### しあわせいっぱい4年生

4年担任 西尾 歩美  
元気いっぱいの4年生と過ごした一年間。毎日笑顔にあふれ、たくさんの思い出ができました。みんなで盛り上がった花丸パーティ。楽しかったですね。どんなことにも真っ直ぐに一生懸命に取り組むみなさん。桜井小学校でのびのびと、自分のよさを大切にしてください。



番匠 羽菜

- 山本 響生  
①みんなで歌った校歌  
②みんなで勉強をがんばる
- 朝倉 大貴  
①花丸パーティでの鬼ごっこ  
②友達と仲よくする
- 中野詩音莉  
①宿泊学習のキャンプファイヤー  
②友達をたくさん作る
- 伊藤 葉椰  
①春の遠足の太閤山ランド  
②国語の勉強と友達作り
- 倉石 涼多  
①花丸パーティでの王様ドッジ  
②算数をがんばる
- 朝倉 花音  
①遠足のとき遊んだ「こども未来館」  
②同級生や他の学年の人と仲よくする
- 澤井 瑠吾  
①宿泊学習での来拝山登山と宿泊  
②しっかりと勉強する
- 栗原 史帆  
①いろいろな学んだ宿泊学習  
②新しい漢字や計算
- 宮本 凌太  
①花丸パーティでのドッジボールと鬼ごっこ  
②たくさんの友達を作る
- 西尾 歩美  
①5・6年生といっしょに競技した大運動会  
②進んで意見を言ったり、真剣に勉強に取り組んだりする
- 村井 雅治  
①宿泊学習での来拝山登山  
②もっと友達をふやす
- 村井 雅治  
①花丸パーティでのドッジボール  
②友達をたくさん作る
- 杉本 静深  
①クラッカーを鳴らした最後の運動会  
②すぐに教室を覚える

明々ハワフルで個性が光る十人の前沢小五年生のみなさん。共に過ごした日々の中で、たくさん思い出ができました。

五年担任 伊東 啓一

### すてきな「Harmony」を奏でる5年生



①5年生の思い出  
②桜井小でがんばりたいこと

- ①最後まで全力で走った 連合体育大会
- ②学校の中を覚えて みんなと仲よくする
- ①協力してグループ活動をした春の遠足
- ②みんなと仲よくする

- ①最後の種目も全力でがんばった大運動会
- ②友達をいっぱい応援する
- ①シンパルの演奏をがんばった鼓笛隊
- ②みんなの名前を覚えて友達を作る
- ①代表委員となり、クラスをまとめたこと
- ②学校の中を覚え、新しい生活になじめ
- ①最後まで本気で走った大運動会
- ②算数を特にかんばる
- ①遠足でラムネを飲んだこと
- ②六年生の勉強をしっかりがんばる
- ①四位に入賞した連合体育大会の中距離走
- ②勉強も運動もかんばる

### 73名のみなさん 時を超えて光輝け

教頭 高岡 薫  
73の笑顔。響きあるハーモニー。「よみがえれ! 校歌」は最高の思い出です。感動をありがとう。

養護 柳原恵美子  
**心も体も元気でください!**

スタディメイト 服部美奈子  
みなさんのもっている素直で優しい心を大切に、これからも楽しく過ごしてください。

教務主任 霜野 成巳  
能登半島に沈む夕日。目の前にせまる僧ヶ岳。前沢小からの風景に心癒やされる毎日でした。

ALT マリー  
**Be strong! Dream big!  
Good luck!**

JET 池田友里恵  
**Have courage & smile!  
勇気とスマイル**

外国人相談員 南保 麗文  
**自分らしく  
いつまでも  
元気で  
がんばってくださいね!**

校務助手 吉田志保子  
**ありがとう  
楽しい思い出を  
たくさん  
感謝しています**

学校図書館活動推進員 得能智恵子  
たくさんの「笑顔」と「元気」をいただきました。「ありがとう!!」前沢小小学校での楽しく過ごしたことを忘れずにかんばってください。

73人の子供たち、保護者のみなさま、地区のみなさま  
ありがとうございます。ありがとうございます。  
そして...さようなら



### 思い出いっぱい 感謝いっぱい集会 -平成28年2月26日-



四字熟語で、中学校進学に向けての抱負を発表しました!

一人一人が光輝き、73の星が絆を深くして結びついた時間  
ありがとう 6年生のみなさん  
ありがとう 前沢小学校  
ありがとう 前沢地区



感謝の言葉 6年生へ 在校生へ  
そして学校へ...

4年生 こわくない七不思議 in 前沢小学校



1・2年生 前沢の昔話

3年生 スターエンジェル - めつ亡の危機 -



5年生 「迷探偵 浦島太郎」 & 合奏

6年生 お礼の言葉と出し物

☆子供たちの一言一言に耳を傾け、体全体で表現する様子を見ていると胸があつくなってきました。  
☆友達、学校、地区の方に感謝の気持ちを表す子供たち。涙ができました。(学校評議員より)

サプライズ - 先生方 -  
エーテルワイス(ハンドベル)  
見上げてごらん 夜の星を

今光輝いている73名のみなさんが 1つに結びつき前沢小の星座となる 3月31日  
夜空を見上げると 前沢小の星座が一番光輝いているのが見えます  
星の瞬きにあわせて 73の笑顔が瞬いているのが見えます  
先生たちは、桜井小学校に行く59名のみなさんの活躍と桜井中学校に進学する14名のみなさんの飛躍を  
いつも祈っています  
応援しています  
楽しみにしています



# 心を込めて環境整備に取り組みました - 2/27 -



年間を通じて様々な活動を行いました。みなさまのご協力ありがとうございました。

## 閉校式・記念除幕式 - 3月5日 -

142年間ありがとうございました



ありがとう前沢小  
さようなら前沢小



73人の子供たちは、光輝き...



当日は、卒業生や地区の方々がたくさん来られました。校旗を市長に返還し、学校との別れを惜しみました。



子供たちの歌声を記憶にとどめて...



前庭に立ち寄ってください



除幕の瞬間 - 3つの記念 -

とうとう「年輪」の最終号を迎えてしまいました。前沢小学校がなくなる寂しさもありますが、この一年「年輪」を通して前沢っ子の素直な表情を見ることができ、桜井小の子供たちになっても大丈夫だと確信しました。とても重要な一年を任せていただき、よい経験になりました。ご協力いただいた先生方、PTA会員のみなさまに感謝します。最後まで読んでいただきありがとうございます。

### 編集後記

あしがついでに、卒業記念品として、桜井小でも大切に使用させていただきます。



今後の予定  
平成二十七年 度 三月  
二十四日 修了式  
二十五日 引越し作業  
三十一日 閉校  
平成二十八年 度 四月  
六日 桜井小閉校式・始業式  
七日 桜井中入学式  
八日 桜井小入学式

# 前沢小学校閉校記念事業実行委員会組織

部会 ◎ 部長 ○ 副部長



# 前沢小学校閉校記念事業実行委員会規約

平成27年4月28日

(名 称)

第1条 本会は、前沢小学校閉校記念事業実行委員会と称し、事務局を黒部市立前沢小学校（富山県黒部市前沢66）内に置く。

(目 的)

第2条 本会は、黒部市立前沢小学校の閉校に際し、前沢小学校の伝統と業績を末永く後世に残すための記念事業に関する企画・運営に当たる。

(事 業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- 1 記念行事（閉校記念式典、感謝の集い）
- 2 記念事業（閉校記念誌の発行、記念碑の建立、跡地利用、その他趣旨に沿った事業）

(実行委員)

第4条 本会の実行委員は、前沢自治振興会長、前沢公民館長、地区住民有志、前沢小学校PTA会員、前沢小学校教職員等が当たる。

(役 員)

第5条 本会には、次の役員を置く。

- 1 実行委員長 1名
- 2 副実行委員長 4名
- 3 幹 事 2名
- 4 監査委員 2名

(役員を選出)

第6条 本会の役員は、次のとおりとする。

- 1 実行委員長は、前沢自治振興会長が当たる。
- 2 副実行委員長は、前沢公民館長、前沢小学校PTA会長、前沢小学校長、副振興会長が当たる。
- 3 幹事は、実行委員長が委嘱する。
- 4 監査委員は、実行委員長が推薦し、総会の承認を得る。
- 5 本会に、顧問をおくことができる。

(事業実施部会)

第7条 本会は閉校記念行事推進のため、次の代表者会や部会をおく。

- 1 代表者会 （基本的な事業の企画と各部会との調整）
- 2 総務部会 （記念事業の資金に関する業務、記念碑計画）
- 3 跡地利用部会（跡地利用に関する業務、スクールバス発着所）
- 4 記念行事部会（記念式典等の企画、部会の目的達成に必要な事業）
- 5 記念誌部会 （記念誌の編集・作成、部会の目的達成に必要な事業）

(役員任期及び任務)

第8条 本会の役員任期は、本事業の完了までとし、任務は次のとおりとする。

- 1 実行委員長は、本会を代表し会務を総理する。
- 2 副実行委員長は実行委員長を補佐し、実行委員長に事故あるときはこれを代行する。
- 3 幹事は、本会の財務及び庶務を担当する。
- 4 監査委員は、本会の会務及び会計を監査する。

(会 議)

第9条 本会は、目的達成のため、総会並びに代表者会の会議を行う。

- 1 総会は、実行委員全員をもって構成し、次の重要事項を決定する。  
〔1〕 規約の制定及び改正  
〔2〕 事業計画及び予算の決定  
〔3〕 事業報告及び決算の承認  
〔4〕 前項の会議においては、出席者の過半数をもって議決とする
- 2 代表者会は、実行委員長、副実行委員長、幹事をもって構成する。

(事業費及び事業年度)

第10条 事業費は、自治振興会からの協賛金（寄付金）、市助成金をもって当てる。

事業年度は、平成27年4月28日に始まり、翌年3月31日に終わる。

(予算の執行)

第11条 事業年度における予算の執行については、実行委員長の責任において学校が行う。

会計に関する帳簿は次のとおりとする。

- 1 金銭出納簿
- 2 収入証拠書類（寄付金の振込通知書等） 綴り
- 3 支出証拠書類（領収書） 綴り

(本会の解散)

第12条 本会は、本会の目的を達成し、総会において事業報告が完了した時点で解散する。

(余剰財産の処分)

第13条 本会の余剰財産があった場合は、閉校記念品（備品等）に当てる。

(そ の 他)

第14条 この規約に定めのない事項については、代表者会で定める。

附 則

この規約は、平成27年4月28日から施行する。

# 前沢小学校閉校記念事業計画

	代表者会	総務部会	跡地利用部会	記念行事部会	記念誌部会	前沢小学校
4	①協議調整4/9 ②実行委員会発足に向けて ③総会案内検討・案内4/24(一部)	①ゼンマイ式音声ガイドについて	①スクールバス乗車児童についての協議 ②交通量調査4/1 ③交通安全協会との協議4/8	①朝倉豊次についての資料収集(北日本新聞社との連携)	①記念誌内容計画立案 ②地区写真家との相談	①PTA総会で閉校・統合の説明
第1回閉校記念事業実行委員会総会(4/28)						
5		①記念碑建立等の打ち合わせ	①跡地利用の方針	①校歌二部合唱についての協議	①記念誌内容案の決定 ②記念誌見積	①新設校校歌についての要望集約 ②校歌二部合唱練習
6	①予算案完成	①記念碑見積		①校歌二部合唱練習開始	①原稿依頼発送	①新設校の校名・校章・閉校事業のお知らせ(便り) ②三日市小との交流活動(4・5年生)
7		①樹木伐採	①記念植樹・門柱及びメッセージの検討	①校歌二部合唱披露(社会を明るくする運動)	①資料集め ②記念誌編集開始	①学級懇談会で閉校事業の説明 ②閉校記念PTA親子活動 ③立山登山(メモリアルストーン)
8	①協議調整	①記念碑工事開始 ②朝倉豊次胸像リニューアル ③土台の石の移動	①スクールバス発着所の現地視察と状況確認 ②8号線の横断箇所			①朝倉豊次氏4女による講演会(8/6)
9				①創校記念式		①閉校記念運動会 ※プロジェクト委員との連携 ②創校記念式(校歌二部合唱)
10	①協議調整	①記念碑計画	①中間報告(PTA)	①式典等計画検討 ②場所の確保		①閉校事業のお知らせ(便り)
11				※公民館まつりで二部合唱披露		
12	①協議調整		①街灯・通学所要時間の確認 ②要望書の作成	①式典参加依頼の案内先確認	①記念誌編集完成	
1	①中間決算報告		①除雪状況確認 ②スクールバス新ルート決定	①式典の招待状及び案内発送 ②感謝の集い検討 ③校歌収録	①印刷製本依頼	①閉校事業のお知らせ(便り) ②交流給食・交流活動
2	①協議調整	①除幕式打ち合わせ ②記念碑完成	①保護者説明会	①式典参加者の把握 ②式典の細案検討	①記念誌校正 ②記念誌完成(式典写真以外)	①閉校式の進行準備確認 ②学習発表会 ③労力奉仕 ④PTA総会 ⑤新設校の校歌練習
3	閉校式・記念碑除幕式・感謝の集い(3/5)					①卒業証書授与式 ②修了式3/24 ③お別れの会 ④引っ越し
第2回閉校記念事業実行委員会総会(3/29) ※記念誌完成・配布						
4						○開校式、始業式

## 編集後記

煌・軌跡・最高の仲間・継承・記憶の5章からなる記念誌。

「前沢小学校142年の歴史と伝統」と「子供たちへ伝えたいこと」を物語るよう命名しました。章のタイトルを書くために本校の職員4名が筆を執り、何度も何度も書き直し、「最高の文字にしよう」と心を込めて運筆する姿に喜びを感じました。

ページを1ページずつめくると、前沢小学校142年の歴史、地区のみなさまや子供たちの学校に対する思いが、ひしひしと伝わってきます。1ページずつめくると、その当時の出来事が頭の中によみがえり、タイムスリップできます。ご家族で、「私が小学生のころは、…」とお子さんやお孫さんに話してやるのもよいでしょう。それが前沢小学校がみなさんの心の中にずっとずっと生き続けることにつながります。

終わりになりますが、原稿執筆にご協力くださったみなさま、編集に携わったみなさまに感謝の意を申し上げます。

編集委員長

前沢小学校長 籠浦智彦

閉校記念誌  
142年のあゆみ **前沢小**

平成28年3月29日 発行

発行 前沢小学校閉校記念事業実行委員会  
〒938-0806 富山県黒部市前沢66  
TEL 0765-54-0770

編集 前沢小学校閉校記念誌編集委員会

印刷 株式会社 すがの印刷  
〒938-0802 富山県黒部市若栗2630  
TEL 0765-54-0112(代)

